DAM614

デジタルマトリクス／プロセッサー

ユーザーマニュアル

原本：Ecler DAM614 User Manual EN（50-0286-0108 EN）

本書は、NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.（ECLER）が発行する英語版ユーザーマニュアルを日本語に翻訳したものです。内容に相違がある場合は、英語版原本の記載が優先されます。



製品写真：DAM614

目次

1. 重要なお知らせ 3
2. 安全上の重要事項 3
3. 重要事項 4
4. 製品概要 4
5. 設置 5
6. フロントパネル 6
7. リアパネル 8
8. メイン画面／ミキサーモード／プリセット管理 10
8.1. メイン画面 10
8.2. ミキサーモード 11
8.3. プリセット呼び出しメニュー 11
8.4. プリセット保存メニュー 12
9. 入力編集メニュー 13
10. 出力編集メニュー 17
11. セットアップメニュー 19
12. フロントパネルロック 22
13. お手入れについて 24
14. 図 24
14.1. 各部の名称と機能 24
14.2. 機能配置図 25
15. 技術仕様 26
16. 設定図 28
17. ブロック図 29
18. CA-NET RS-232 リモート制御プロトコル 29
制御プロトコルのコマンド一覧（原本ページ別） 32
国内保証・修理のご案内 44

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

1. 重要なお知らせ



正三角形内の矢印付き稲妻記号は、製品の筐体内部に、人体に感電の危険を及ぼすおそれのある絶縁されていない「危険な電圧」が存在することを示します。



正三角形内の感嘆符は、本体に付属する説明文書に、操作および保守（サービス）に関する重要な指示があることを示します。

注意：感電の危険があります。筐体を開けないでください。内部に使用者が修理できる部品はありません。修理・点検は有資格の担当者に依頼してください。



警告（該当する場合）：稲妻記号が付いた端子は、感電の危険を及ぼすおそれのある電圧になることがあります。これらの端子に接続する外部配線は、知識を有する者が施工するか、既製のリード線またはコードを使用してください。

警告：火災または感電を防ぐため、この機器を雨や湿気にさらさないでください。

警告：クラスI構造の機器は、保護接地付きのコンセントに接続してください。

2. 安全上の重要事項

これらの指示をお読みください。

これらの指示を保管してください。

すべての警告に従ってください。

すべての指示に従ってください。

この機器を水の近くで使用しないでください。

お手入れについては乾いた布でのみ行ってください。

通気口をふさがないでください。製造者の指示に従って設置してください。

ラジエーター、暖房機、ストーブなど、熱を発生する装置（アンプを含む）の近くに設置しないでください。

有極プラグまたは接地型プラグの安全機能を無効にしないでください。有極プラグは、一方の刃が他方より幅広です。接地型プラグは二本の刃と一本の接地ピンを備えます。幅の広い刃または接地ピンは安全のためのものです。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気技術者に古いコンセントの交換を依頼してください。

電源コードは、プラグ部、コンセント部、および機器から出る箇所で踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。

製造者が指定した付属品・アクセサリーのみを使用してください。

雷雨のとき、または長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

修理はすべて資格のある技術者に依頼してください。電源コードやプラグの損傷、液体がかかった場合や異物が入った場合、雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、落下させた場合など、何らかの損傷があるときは修理が必要です。

電源からの切り離し：POWERスイッチを切ると、本機の機能と表示灯は停止しますが、電源から完全に切り離すには、電源入力ソケットから電源コードを抜きます。そのため、電源コードは常にすぐに操作できる状態にしてください。

本機は、電源コードにより接地付きコンセントに接続されます。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

表示事項は機器の底面に記載されています。

本機に水滴や水しぶきがかからないようにし、花瓶など液体の入った物を上に置かないでください。

注記：この機器は試験の結果、FCC規則パート15に定めるクラスAデジタル装置の制限に適合しています。この制限は、商業環境で使用する際に、有害な干渉を適切に抑えるために設けられています。この機器は無線周波数エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。取扱説明書に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を起こすことがあります。住宅地域で使用すると有害な干渉を起こす可能性があり、その場合、利用者の負担で干渉を解消する必要があります。



警告：本製品を、いかなる場合も分別されていない一般ごみとして廃棄しないでください。最寄りの電気・電子機器廃棄物の処理施設へ持ち込んでください。



NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.は、上記の警告に従わなかったことにより人、動物または物に生じたいかなる損害についても責任を負いません。

3. 重要事項

Ecler DAM614 デジタルラウドスピーカーマネージャーをお選びいただき、ありがとうございます。

接続を行う前に、本マニュアルを注意深く読み、内容を十分に理解することが重要です。これにより、本機を最大限に活用し、最良の性能を得ることができます。

本機を良好な状態でお使いいただくため、保守は当社指定のサービス窓口にご依頼ください。

すべてのECLER製品には保証が付いています。保証期間と条件は、www.ecler.com または本製品に同梱の保証書をご確認ください。

4. 製品概要

DAM614 は、音声入力 6、出力 4、DSP 処理、RS-232 接続、リモート制御ポート 4 つ（0～10 VDC）を備えたデジタルオーディオミキサーです。

主な特長

RCA コネクターのステレオライン入力 × 2

Euroblock コネクターのバランスデュアル入力（マイク／ライン）× 4。独立入力（モノ）として、またはペアで 3 番目と 4 番目のステレオ入力として設定できます。

Euroblock コネクターのバランス音声出力 × 4。各出力は、別ゾーン出力（モノ）、またはステレオゾーン用のリンク出力（A&B／C&D）として設定できます。

24 ビット量子化、48 kHz サンプリングの DSP

フロントパネルの 2×20 文字 LCD 表示

メニュー移動とパラメーター設定用のフロントパネルセットアップキー × 4

入力管理用のフロントパネルデジタルコントロール（エンコーダー）× 6（入力ごとに 1 つ）

出力管理用のフロントパネルデジタルコントロール（エンコーダー）× 4（出力ごとに 1 つ）

フロントパネル LED 表示 × 10（入出力ごとに 1 つ）

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

入力または出力の音量制御、ソース選択、プリセット呼び出しなどを、WPa シリーズパネルなどの外部機器から行う REMOTE ポート × 4（0〜10 VDC）

4 ゾーンページングステーション MPAGE4 を接続する PAGER ポート

外部の接点閉で 1 つまたは複数の出力ゾーンをミュートする MUTE ポート

RS-232 インターフェース。EclerCOMM ソフトウェア（www.ecler.com/en/products/audio/software から無料ダウンロード）および外部リモート制御用 CA-NET プロトコルに対応

処理：

各入出力の独立したレベル制御

各出力ゾーンへの入力の組み合わせの独立ミックス（クロスポイントの有効化とレベル）。6 入力の独立ミックスを最大 4 つ

各入力の独立した 3 バンドトーン調整（BASS-MID-TREBLE）

各出力の独立したクロスオーバーフィルター。各出力の独立した 10 バンドグラフィックイコライザー

MIC/LINE 入力（入力

3、4、5、6）の、周波数を調整できるハイパスフィルター。入力 3、4、5、6 に独立して設定できる PAGER/DUCKER 機能。優先度は 2 段階（優先付きの音声メッセージまたは録音メッセージ、

ページングステーションからのページングなど）

入力 3、4、5、6 に独立して設定できるノイズゲート。入力 3、4、5、6 に独立して設定できる音声フィードバック（ハウリング）抑制

各出力の独立したディレイ設定。各出力の独立したコンプレッサー／リミッター

ユーザー設定を作るためのシステムテンプレート：

T1：ステレオ入力 4 × モノ出力 4。T2：ステレオ入力 4 × ステレオ出力 2。T3：ステレオ入力 4 × ステレオ出力 1 + モノ出力 2。T4：ステレオ入力 3 + モノ入力 2 × モノ出力 4。T5：ステレオ入力 3 + モノ入力 2 × ステレオ出力 2

T6：ステレオ入力 3 + モノ入力 2 × ステレオ出力 1 + モノ出力 2。T7：ステレオ入力 2 + モノ入力 4 × モノ出力 4。T8：ステレオ入力 2 + モノ入力 4 × ステレオ出力 2。T9：ステレオ入力 2 + モノ入力 4 × ステレオ出力 1 + モノ出力 2

各システムテンプレートは、チャンネルの動作と制御モード、および所属するステレオリンクグループを含む設定を自動で定めます。例：ステレオ入出力の構成では、左チャンネルに適用した設定が右チャンネルにも自動で適用され、その逆も同様です。

ユーザープリセット：20

入力、出力、ユーザープリセットの名前（ラベル）の編集

パスワード保護付きのフロントパネルロックモードが 3 つ。全体、入出力の MUTE/VOL を除く、または出力の MUTE/VOL と入力の有効化および入力レベルを除く

5. 設置

設置場所、セットアップ、換気

Ecler DAM614 は、卓上ミキサーとしても 19 インチラックユニットとしても使えるよう設計されています。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

DAM614 は消費電力が低いため換気は必須ではありませんが、完全に密閉したり極端な温度にさらしたりしないことを推奨します。筐体の通気孔に外気が通るよう、ラックでは上下の機器とのあいだに少なくとも 1U の空きを残してください。

同じラック、または扉付きキャビネットに複数の製品を設置する場合は、上下端にファンを付け、下から上への強制気流を作ることを強く推奨します。この上向きの気流が、内部で発生する熱の放散を助けます。

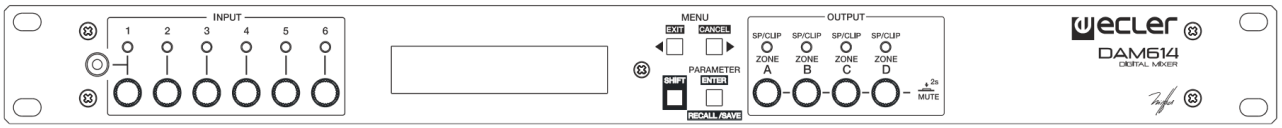
交流接続と電源投入

Ecler DAM614 は外部電源から交流で給電します。100～240 VAC、50～60 Hz です。この外部 PSU には交換式コネクターがあります。アメリカ、欧州、英国、中国です。

リアパネルでは、電源オン／オフスイッチが外部電源コネクターの隣にあります。

ハムを避けるため、外部電源ケーブルを音声シールドケーブルと絡めたり平行に這わせたりしないでください。

6. フロントパネル



INPUT 1 ミニジャックコネクター

ステレオ INPUT 1 には、使いやすいよう入力コネクターが二重にあります。リアパネルのデュアル RCA と、フロントパネルのステレオミニジャックです。

INPUT エンコーダーと表示

INPUT 1～INPUT 6 のつまみは、押すまたは回すことで各種機能を持つデジタルエンコーダーです。押すと、LCD に現在表示されている出力ゾーン（ZA、ZB、ZC、ZD）に対して各入力を有効／無効にできます。有効な入力（LED 点灯）はミックスされ、本体で調整した DSP 処理（音量、トーン、PAGER/DUCKER 型の優先など）のあと、宛先ゾーンへ送られます。

あるゾーンの入力を有効または無効にする手順：

フロントパネルの OUTPUT 部にある ZONE A、B、C、D のデジタルコントロールの 1 つを短く押します。

LCD の左上に、選んだゾーン（ZA、ZB、ZC、ZD）が表示されます。

INPUT 1～6 の LED が、このゾーンで有効な入力を示します（点灯＝有効な入力）。

いずれかの INPUT エンコーダーを短く押すと、このゾーンに対する対応入力を有効／無効にします。

注記：入力 3&4 および／または 5&6 でステレオモードを選ぶと、INPUT 3～6 のエンコーダーはリンクします。一方を押すと LED が同時に点灯または消灯し、レベルや EQ などが同じ処理を受けるステレオペア（L-R）であることを示します。

この出力表示画面でこれらのコントロールの 1 つを回すと、対象出力における対応入力のミックスレベルを調整し、各出力向けのカスタム入力ミックスを構成できます。詳しくはミキサーモードの節を参照してください。

INPUT 1～INPUT 6 のエンコーダーは、SHIFT キー（エンコーダーを押しながら IN キー）と組み合わせると、入力セットアップメニューにも入れます（入力編集メニューの章を参照）。

OUTPUT エンコーダーと表示

これらの 4 つのコントロールは、各出力（ZONE A、B、C、D）に 1 つずつあり、次ができます。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

短押し：LCD に表示する出力ゾーンを選びます。同じ出力コントロールを続けて押すと、表示が次の 2 つを交互に切り替わります。

出力音量：ゾーン表示 ZA、ZB、ZC、ZD と、出力音量を示す横棒グラフ。この画面でエンコーダーを回すと、表示中のゾーンの出力音量を調整します。ミキサーモード：表示中のゾーンに対するすべての入力のミックスレベルを表示します。この画面で入力エンコーダーを回すと、表示中のゾーンに対する各入力のミックスレベルを調整できます。

長押し（2 秒超）：出力の MUTE を有効／無効にします。出力 LED は MUTE の状態を示します（赤点灯＝MUTE オン）。

複数のキーを同時に押して、それらの MUTE を有効／無効にすることもできます。

さらに、入力、出力、または全体パラメーターの編集／設定画面が表示されているとき、4 つの出力エンコーダーのいずれかで、LCD に現在表示されているパラメーターの値を、回転方向に応じて増減できます。

注記：

いずれかの出力ペアでステレオモードを選ぶと、A&B および／または C&D のキーはリンクします。MUTE の有効／無効や VOLUME の設定で同時に点灯または消灯し、レベルや EQ などが同じ処理を受けるステレオペアであることを示します。

DAM614 は、モノまたはステレオの入力からモノまたはステレオの出力へのルーティングを自動で管理します。

モノ入力は、対応するセンドまたはミックスレベルの調整とともに、モノ出力へ直接送られます。このレベルは他の入出力のレベルから独立しています。

モノ入力は複製され、対応するセンドまたはミックスレベルの調整とともに、ステレオ出力の左右チャンネルへ送られます。このレベルは他の入出力のレベルから独立しています。

ステレオ入力は、左右チャンネルのモノ和（ステレオからモノへの変換）として、対応するセンドまたはミックスレベルの調整とともにモノ出力へ送られます。このレベルは他の入出力のレベルから独立しています。

ステレオ入力はステレオイメージを保ってステレオ出力へ送られます。入力の左チャンネルは出力の左チャンネル（奇数）へ、入力の右チャンネルは出力の右チャンネル（偶数）へ、対応するセンドまたはミックスレベルの調整とともに送られます。このレベルは他の入出力のレベルから独立しています。

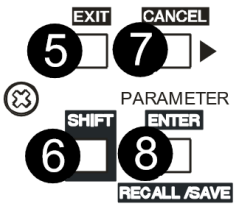
LCD 表示

入力、出力、セットアップメニュー、機器の設定と情報の、数字と文字を表示します。

セットアップキー

フロントパネルの 4 つのセットアップキーで、各種メニューとそのページを移動し、特定のキーを同時に押す組み合わせで特別な機能にアクセスできます。

MENU



左右の MENU キー（5、7）で、本体のセットアップメニューの各ページをスクロールします。

PARAMETER キーは、メニューとページの中で、エンコーダーで値を変えるパラメーターを選びます。対象パラメーターの名前が表示で点滅しているあいだ、その値を編集できます。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

セットアップキーの特別な組み合わせは次のとおりです。

左右の MENU を同時に 2 秒：本体のセットアップメニュー（セットアップメニューの章を参照）、ならびにフロントパネルのロック／解除とパスワード管理（フロントパネルロックの章を参照）に入ります。

SHIFT + 左 MENU（EXIT）：どのメニューからでもメイン画面へ戻ります。

SHIFT + 右 MENU（CANCEL）：直前のパラメーター編集を取り消し、変更前の値を呼び戻します。SHIFT + PARAMETER の短押し（タップ）：RECALL：メモリに保存されたプリセット（機器設定）の 1 つを読み込みます。本体の一部の一般セットアップメニューを見ているときは、この機能は使えません。

ENTER：一部のメニューで、重要な変更（例：パスワード変更）を確定します。

SHIFT + PARAMETER の長押し：

SAVE：現在の機器設定を含むプリセットを保存します。

右の CANCEL を押したまま電源を入れる：起動用設定として編集および保存するよう作られたプリセット #1 を読み込みます。フロントパネルがパスワードでロックされていても、この操作はできます。

ZA を押したまま電源を入れる：「工場出荷時設定に戻すには電源を切ってください」というメッセージを表示します。いったん切って再び入れると、既定パラメーター（工場出荷時設定）が復元され、メモリ内のユーザーデータ、設定、プリセットはすべて消去されます。

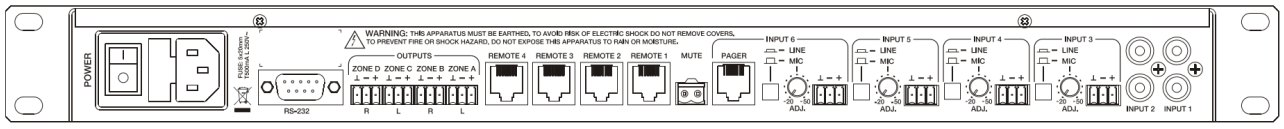
SP/CLIP 表示灯

フロントパネルの LED は、2 種類の情報を示します。

緑または SIGNAL PRESENT（SP）：ミキサー入力に信号があることを知らせます。入力信号が -40 dBV を超えると点灯します。

橙または CLIP：信号レベルが実際のクリッピング、+12 dBV に近いと点灯します。使用する楽曲でこれらの表示が点きっぱなしにならないよう注意してください。

7. リアパネル



リアパネルには次の接続があります。

起動

外部電源コネクターと、電源ケーブルを確実に固定するタブが、本体の電源スイッチの隣にあります。

入出力コネクター

DAM614 には次の音声入力接続があります。

INPUT 1〜INPUT 2：アンバランスステレオ接続。フロントパネルの 1/8 インチジャック（INPUT 1 のみ）とリアパネルのデュアル RCA。公称信号 -6 dBV と 0 dBV 向けで、内部ジャンパーで感度を調整できます（各部の配置図の節を参照）。CD プレーヤー、ラジオチューナー、ミキシングコンソール、メディアプレーヤー、コンピューターやタブレットの音声出力などの信号を受けられます。

INPUT 3、4、5、6（MIC/LINE）：リアパネルのデュアル（MIC/LINE）バランス Euroblock 接続。信号レベルは -30 dBV〜0 dBV（LINE）、または -20 dBV〜-50 dBV（MIC）で、ADJ コントロールで感度を調整します。本体のプリセット呼び出しメニュー、EclerCOMM Manager、壁面パネルリモコンなどで選んだ動作テン

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

プレートまたはプリセットに応じ、独立（モノ）で動作するか、本体の 4 番目のステレオ入力としてリンクできます。

注記：どの入力にも RIAA プリアンプがないため、ターンテーブルをこの本体に直接接続することはできません。

DAM614 の信号出力は、4 つのバランス 3 ピン Euroblock コネクター（ZONE A、B、C、D）で行います。

PAGER コネクター

MPAGE4 コンソール（任意）を接続し、ゾーンを選んでリアルタイムに音声メッセージを送れます（ページング）。

接続したコンソールは、PAGER 機能の管理に INPUT 6 チャンネルを LINE モードで使います（詳しくは MPAGE4 コンソールのマニュアルを参照）。

この機能を有効にするには、機器のセットアップメニュー（フロントキーと LCD）または EclerCOMM Manager から、入力 6 の PAGER モードを正しく設定する必要があります（詳しくは入力編集メニューの章を参照）。

リモートコネクター

REMOTE コネクター 1〜4 では、WPa シリーズの壁面パネルまたは類似品（0〜10 VDC）から、1 つまたは複数の入力の音量、または 1 つまたは複数の出力の音量を同時に制御し、プリセットの選択、1 つまたは複数のゾーンのソース選択、それらのゾーンへ送る音量の制御などができます。各 REMOTE ポートが制御する入出力は、機器のセットアップメニュー（フロントキーと LCD）または EclerCOMM Manager で選びます（詳しくはセットアップメニューの章を参照）。

WPa シリーズの壁面パネルは、内部ジャンパーを 10V / LIN の位置に設定する必要があります。

MUTE コネクター

リアパネルの MUTE コネクターには、外部の無電圧接点閉を接続し、外部ユニットが作動したとき（例：緊急・避難用の中央警報システム）に、機器の 1 つまたは複数の出力ゾーンをミュートできます。MUTE ポートが影響する出力は、機器のセットアップメニュー（フロントキーと LCD）または EclerCOMM Manager から選びます（詳しくはセットアップメニューの章を参照）。

RS-232 ポート

RS-232 シリアル通信ポートにより、CA-NET プロトコルに対応するコンピューターまたは外部制御システムから、または無料の EclerCOMM Manager から、DAM614 を遠隔管理できます。

接続の詳細と対応コマンドの構文は、CA-NET プロトコルのマニュアルを参照してください。

DAM614 のシリアル接続の仕様は次のとおりです。

ボーレート：9600（固定、自動ネゴシエーションなし）

データビット：8

パリティ：なし

ストップビット：1

フロー制御：なし

ケーブル：標準 RS-232、DB9-DB9（ピン対ピン）

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

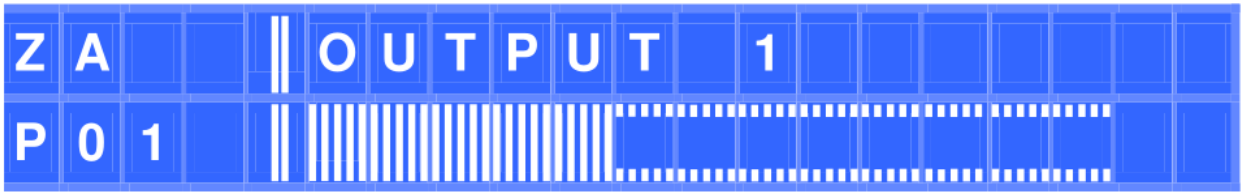
8. メイン画面／ミキサーモード／プリセット管理

8.1. メイン画面

電源を入れると、機器の画面は数秒間、次の情報を表示します。



…そのあと、次のような別の情報を表示します。



この画面、つまりメイン画面で得られる情報は、上の例に従うと次のとおりです。

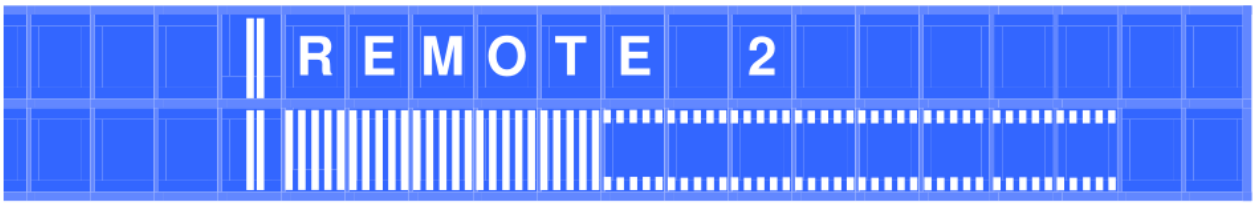
ZA：音量調整やソース選択などの対象として選んだ出力ゾーン。使えるゾーンは ZA、ZB、ZC、ZD（すべてモノ）、またはいずれかの出力ペアがステレオゾーンに設定されている場合は ZAB と ZCD です。

OUTPUT 1：出力ゾーンの名前。既定は OUTPUT n ですが、編集できます。

P01：有効なプリセットまたはテンプレートの番号。プリセット番号の右のアスタリスクは、このプリセットが変更され、まだ DAM614 のメモリに再保存されていないことを示します（保存する前に電源を切ると、変更は失われます）。

横方向の音量バー：該当ゾーンの出力音量を表示します。デジタルエンコーダーを回して直接変えられます。デジタルエンコーダーを回してレベルを変えると、対象出力の LED が短く点滅します。

本体の入力または出力が、DAM614 リアパネルの REMOTE ポートに接続した外部壁面パネル（WPa シリーズまたは類似品）の音量制御に割り当てられている場合、物理リモコンの位置を変えると、LCD に該当する音量設定が短く表示されます（そのあと前の画面に戻ります）。



さらに、フロントパネルの入出力 LED は次の情報を示して点灯します。

入力：

画面に表示されている出力ゾーンに対して入力が有効（LED オン）。エンコーダーの短押しで状態（有効／無効）が切り替わります。

画面に表示されている出力ゾーンに対して入力が無効（LED オフ）。エンコーダーの短押しで状態（有効／無効）が切り替わります。

出力：

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

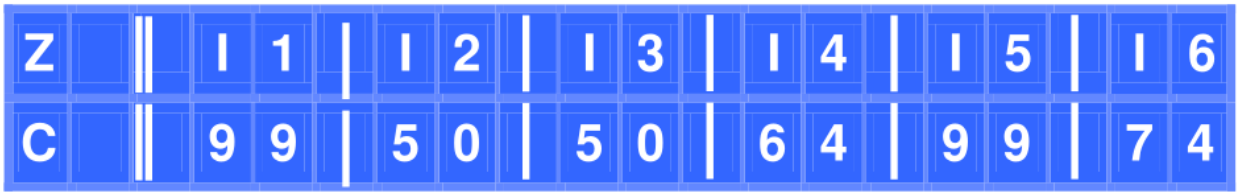
ミュートされた出力（MUTE＝オン）（LED が赤で点灯）。エンコーダーの長押し（2 秒超）で状態（ミュート解除／ミュート）が切り替わります。

ミュートされていない出力（MUTE＝オフ）。エンコーダーの長押し（2 秒超）で状態（ミュート解除／ミュート）が切り替わります。

注記：複数のエンコーダーを同時に押して、それらの MUTE を有効／無効にできます。

8.2. ミキサーモード

ゾーンのメイン画面（名前と棒表示の出力音量）から、この出力のデジタルエンコーダーを短押しすると、表示がミキサーモードに切り替わります。



このモードでは、メイン画面（およびミキサーモード画面の左上）に表示されている出力に対する各入力のミックスレベルを表示します。

上の例では、次の情報が分かります。

表示されている出力ゾーンは ZONE C です。

このゾーンに対する入力のミックスレベルは、99（INPUT 1）、50（INPUT 2）、50（INPUT 3）、64（INPUT 4）、99（INPUT 5）、74（INPUT 6）です。

出力 ZONE C へルーティングされた入力に関するこれらのミックスレベルは、同じ入力の他の 3 ゾーン（A、B、D）に対するミックス音量から完全に独立しています。

この画面では、各入力のデジタルエンコーダーを回してこれらのミックスレベルを変えられます。デジタルエンコーダーを回してレベルを変えると、対象入力の LED が短く点滅します。

注記：

この画面に表示されるミックスレベルにかかわらず、このゾーンミックスを有効にするには入力を有効（LED が青で点灯）にする必要があります。この画面またはゾーン音量のメイン画面から、入力キーを押してミックス内の対応入力を有効または無効にできます。

ミキサー画面から、同じデジタルエンコーダー（表示中の出力）を短押しすると、ミキサー画面とゾーンのメイン画面が交互に切り替わります。

あるゾーンのミキサー画面から、フロントパネルの ZONE エンコーダー（A、B、C、D）を短く押すと、他の任意のゾーンのミキサー画面へ切り替えられます。

8.3. プリセット呼び出しメニュー

DAM614 には 9 つの動作テンプレートがあり、動作モードの設定の出発点として使います。

T1：ステレオ入力 4 × モノ出力 4

T2：ステレオ入力 4 × ステレオ出力 2

T3：ステレオ入力 4 × ステレオ出力 1 ＋ モノ出力 2

T4：ステレオ入力 3 ＋ モノ入力 2 × モノ出力 4

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

T5：ステレオ入力 3 + モノ入力 2 × ステレオ出力 2

T6：ステレオ入力 3 + モノ入力 2 × ステレオ出力 1 + モノ出力 2

T7：ステレオ入力 2 + モノ入力 4 × モノ出力 4

T8：ステレオ入力 2 + モノ入力 4 × ステレオ出力 2

T9：ステレオ入力 2 + モノ入力 4 × ステレオ出力 1 + モノ出力 2

各システムテンプレートは、チャンネルの動作と制御モード、および所属するステレオリンクグループを含む設定を自動で定めます。例：ステレオ入出力の構成では、左チャンネルに適用した設定が右チャンネルにも自動で適用され、その逆も同様です。

これらのテンプレートの 1 つを呼び出し、パラメーターを編集し、結果の設定を PRESET またはユーザーメモリとして保存できます。

システムテンプレートは、画面上で Txx 接頭辞（xx は 01～09 のテンプレート番号）とその名前または LABEL で表示されます。これらのファイルは書き換えできません。

ユーザープリセットは、画面上で Pxx 接頭辞（xx は 01～20 のプリセット番号）とその名前または LABEL で表示されます。すべてのユーザープリセットの既定名は USER PRESET ですが、メモリへ保存するときに変更できます。

プリセットまたはユーザーテンプレートを呼び出す手順は次のとおりです。

メインメニューから、SHIFT + RECALL を短く押します。

RECALL PRESET メッセージが表示され、プリセット番号が点滅します。



エンコーダー（ZONE A、B、C、D）でプリセットまたはテンプレートを選び、次の 2 つのいずれかを選びます。

SHIFT + RECALL を押して選択を確定し、新しいプリセットを有効にしてメイン画面へ戻ります。このとき、新しい有効プリセットのデータが表示されます。

または

SHIFT + CANCEL を押して選択を取り消し、選択一覧のプリセットを再び表示します。

上記の途中で SHIFT + EXIT を押すと、選択を取り消してメイン画面へ戻ります。

8.4. プリセット保存メニュー

有効なプリセットまたはテンプレートを編集したあと、現在の構成をユーザープリセットメモリへ保存する手順は次のとおりです。

メインメニューから、SHIFT + SAVE を少なくとも 2 秒押します（長押し）。

SAVE PRESET メッセージが表示され、プリセット番号が点滅します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。



ロータリーコントロールでユーザープリセットを選び、次の 2 つのいずれかを選びます。

SHIFT + SAVE で選択を確定します。

または

SHIFT + CANCEL で選択を取り消し、開始プリセットを再び表示します。

上記の途中で SHIFT + EXIT を押すと、選択を取り消してメイン画面へ戻ります。

選択を確定する（SHIFT + SAVE）と次の画面が表示され、宛先プリセットの名前を変更できます。



プリセットの名前を変える手順：

エンコーダー（ZA または ZB）で最初の文字を編集します。

PARAMETER を押して、次に編集する文字を選びます。

エンコーダーで新しい文字を選びます。

以下同様です。

SHIFT + CANCEL を押すと直前の変更が取り消され、表示は元の状態に戻ります。

希望の文字をすべて編集したら、SHIFT + SAVE を押して変更を確定します。PRESET SAVED メッセージが数秒表示されます。プリセットはメモリに保存されますが、保存したことだけでは有効プリセットには選ばれません。

メイン画面に戻り、その時点の現在のプリセットが再び表示されます。新しく保存したプリセットとは限りません。

上記の途中で SHIFT + EXIT を押すと、選択を取り消してメイン画面へ戻ります。

プリセットに保存されるパラメーターは次のとおりです。

名前（ラベル）を含む、すべての入出力設定

REMOTE ポート 1、2、3、4 と MUTE ポートの設定（外部接点閉で出力をミュートできます）

9. 入力編集メニュー

入力の設定の編集メニューを開くには、SHIFT + INPUTn を押します。INPUTn は、希望の入力（1、2、3、4、5、6）に対応するエンコーダーです。

ある入力の編集メニューのページに入ったあと、SHIFT + INPUTm を押すと、別の入力の同じページを開けます。INPUTm は、新しく対象とする入力のエンコーダーです。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

新しく編集した値はリアルタイムで有効になります。SHIFT + CANCEL を押すと、編集を取り消して編集前の値に戻せます。

編集メニューを終了してメイン画面へ戻るには：

SHIFT + EXIT を押します。

SHIFT + INPUTn（現在編集中の入力 n の MUTE キー）を押します。

フロントパネルのどのコントロールも 2 分間操作しないままにします。

以下に、入力設定メニューの全体構成と選択肢を示します。

注記：

1. 入力 3、4、5、6 はデュアル（マイク／ライン）で、入力 1 と 2（ライン入力のみ）に比べて追加のセットアップメニューがあります。カットオフ周波数を 50〜150 Hz で調整できるハイパスフィルター（HP FILTER）。

TALKOVER：ある音声入力が他の音声入力より優先される機能。

NOISE GATE。この機能がオンのとき、信号が NOISE GATE の作動スレッショルドを超えないかぎり入力はミュートされたままで、マイクまたは接続機器が拾う背景ノイズを抑えます。FEEDBACK SUPPRESSOR。マイク音源が、増幅した自分の信号を出すスピーカーの近くにあるとき、フィードバックループ（音声フィードバックまたはハウリング）の危険を減らす効果的な仕組みです。有効にすると、影響を受けるチャンネルの入力信号の周波数をわずかにずらしてからマトリクスミキサーへ送り、選んだ出力へ送ります。ずれはごくわずかで、特に人の声の周波数範囲では聞き手にはほとんど分かりません。数サイクル（Hz）の変位で、起こり得るフィードバックに対するシステムの保護が大きく高まります。

TALKOVER 機能の調整パラメーターは次のとおりです。

有効化（オン／オフ）

PAGER／DUCKER モジュールは、優先付き信号のルーティングを管理します。予期しない動作を避けるため、これらの信号を手動でルーティングしないでください。MODE：DUCKER/PAGER（後者は入力 6 のみ）。動作モードは 2 つあります。

DUCKER：信号検出のあと（信号が検出スレッショルドを超えたとき）、影響を受ける出力に割り当てられた信号を減衰します（DUCKED OUTS）。

PAGER（入力 6 のみ）：マイク付きの卓上ページングステーション MPAGE4 から、メッセージをリアルタイムに送れます。優先度（PRIO）：HIGH/LOW。TALKOVER 機能を持つ入力は、設定で定めた宛先ゾーンへルーティングされている、優先度がより低いか トークオーバー機能のない他の入力を減衰またはミュートできます。複数の入力が同じ優先度（複数の入力が Talkover LOW または HIGH）の場合、宛先ゾーンで最初に Talkover が作動した入力（その信号が検出スレッショルドを超えた入力）は、最初の Talkover の動作が終わるまで（その信号が作動スレッショルドを下回るまで）、同じゾーンの他の入力の トークオーバーを無効にします。そのあと トークオーバー機能は再び使え、スレッショルドを超えた入力が作動できます。

減衰する出力（DUCKED OUTS）：TALKOVER 機能が DUCKER モードで動作するときに影響を受ける出力。画面のゾーンの下の記号「o」は、そのゾーンが DUCKER 機能の影響を受けることを示します。

作動スレッショルド（TLK THRESHD）：トークオーバー機能のトリガースレッショルド。該当入力の信号がこのスレッショルドを超えると トークオーバー機能が作動します。このトリガーレベルはリアパネルの入力感度設定に依存しますが、本体の INPUT VOLUME 調整からは独立しています（DUCKER モードでのみ使えます。PAGER モードでは、MPAGE4 コンソールの PAGE ボタンを押すと機能が作動します）。

減衰量（DEPTH）：機能がトリガーされたとき、影響を受けるゾーンへ送られる残りの信号に適用する減衰。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

アタック時間（ATTACK）：信号がトリガースレッショルドを超えてから トークオーバー機能が作用するまでの時間。

ホールド時間（HOLD）：トリガーされたあと、信号がトリガースレッショルドを下回ってからも トークオーバー機能が有効なままになる時間（DUCKER モードでのみ使えます。PAGER モードでは、MPAGE4 コンソールの PAGE ボタンが押されているあいだ機能が有効です）。

MPAGE4 コンソール）。リリース時間（RELEASE）：ホールド時間のあと、トークオーバー機能が作用をやめ、影響を受けるゾーンの入力信号の以前のレベルを徐々に回復するまでの時間。

チャイムメロディまたは「ding-dong」＋再生音量：トークオーバー機能が作動したときに再生される短いメロディ。PAGER モードのみ（メロディは 2 つ）。

NOISE GATE 機能の調整パラメーターは次のとおりです。有効化（オン／オフ）

作動スレッショルド（NG THRESHOLD）。このレベルを下回る入力信号を、DEPTH が示す量だけ減衰します。

（ゲート閉）。アタック時間（ATTACK）。スレッショルドを超えてから、入力信号に適用された減衰が解除されるまでの時間を定めます（ゲート開）。

ホールド時間（HOLD）：信号が検出スレッショルドを下回ったあと、ゲートが開いたまま（減衰なし）になる時間。リリース時間（RELEASE）。ホールド時間のあと、ゲートが再び閉じるまでの時間を定めます。

2. COPY FROM – PASTE TO 操作は、名前（LABEL）を除き、ソース入力のすべての設定を宛先入力へコピーします。

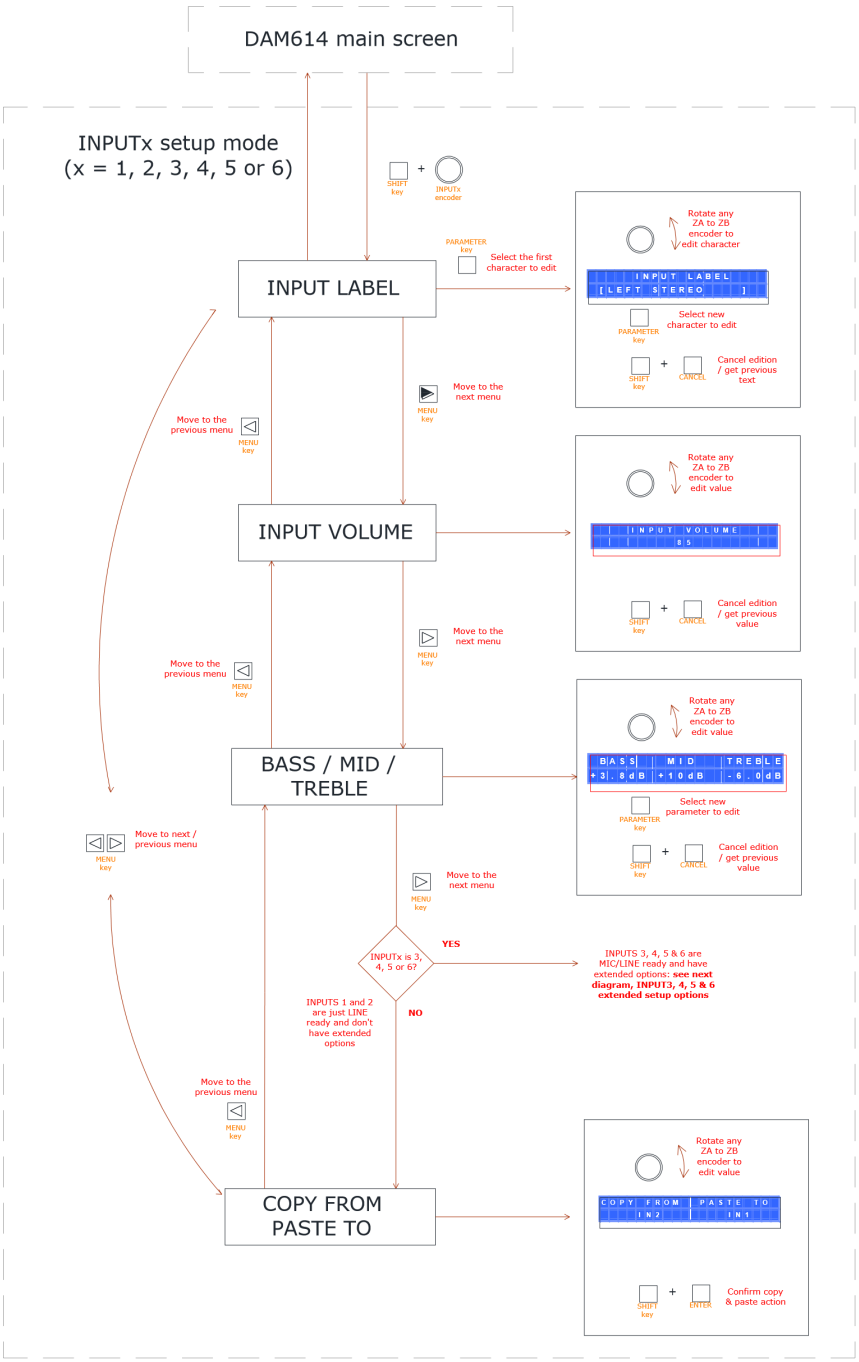
フロントパネルの INPUT 設定

INPUT の設定を編集するには、SHIFT キーを押しながら

INPUT 1、2、3、4、5、6 のエンコーダーを押します。INPUT のセットアップメニューに入ります。SHIFT + EXIT を押すか、2 分待つとセットアップモードを終了します。

ある入力のセットアップモードに入ったあと、SHIFT + INPUTx エンコーダーを押すと、新しい INPUTx 入力の現在のセットアップメニュー（同じ設定画面）へ切り替わります。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

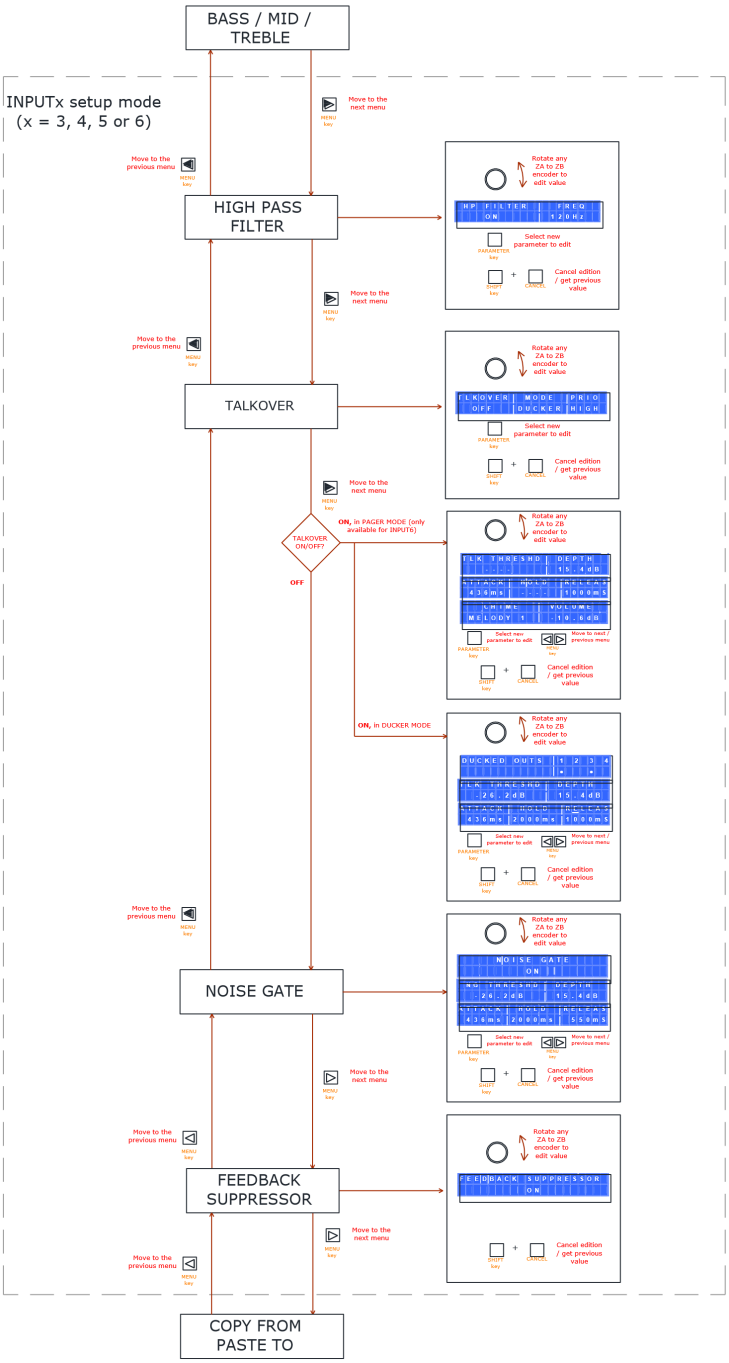


INPUT 3、4、5、6 の拡張オプション設定

INPUT 3、4、5、6 はデュアル（MIC/LINE）入力なので、INPUT 1 と 2（ステレオ LINE 入力のみ）に比べて拡張オプションがあります。

このため追加の設定メニューと選択肢があり、次の図に示します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。



10. 出力編集メニュー

出力の設定の編集メニューを開くには、SHIFT + OUTPUTn を押します。OUTPUTn は、希望の出力（ZONE A、B、C、D）に対応する OUTPUT エンコーダーです。

ある出力の編集メニューのページに入ったあと、SHIFT + OUTPUTm を押すと、別の出力の同じページを開けます。OUTPUTm は、新しく対象とする出力のエンコーダーです。

新しく編集した値はリアルタイムで有効になります。SHIFT + CANCEL を押すと、編集を取り消して編集前の値に戻せます。

編集メニューを終了してメイン画面へ戻るには：

SHIFT + EXIT を押します。

SHIFT + OUTPUTn（現在編集中の出力のエンコーダー）を押します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

フロントパネルのどのコントロールも 2 分間操作しないままにします。

以下に、出力設定メニューの全体構成と選択肢を示します。

注記：

各出力に適用するクロスオーバーフィルターは、ハイパス（HP）またはローパス（LP）で、どちらもバターワース特性、スロープ 12 dB/オクターブ、カットオフ周波数は 20 Hz～20 kHz で調整できます。

各出力に適用するグラフィックイコライザーは、使える 10 バンドのそれぞれを ±10 dB で設定します。

31.5 Hz、63 Hz、125 Hz、250 Hz、500 Hz、1 kHz、2 kHz、4 kHz、8 kHz、16 kHz

COPY FROM – PASTE TO 操作は、名前（LABEL）を除き、ソース出力のすべての設定を宛先出力へコピーします。

各出力のコンプレッサーは、圧縮 RATIO が inf:1 のときリミッターとして動作します。

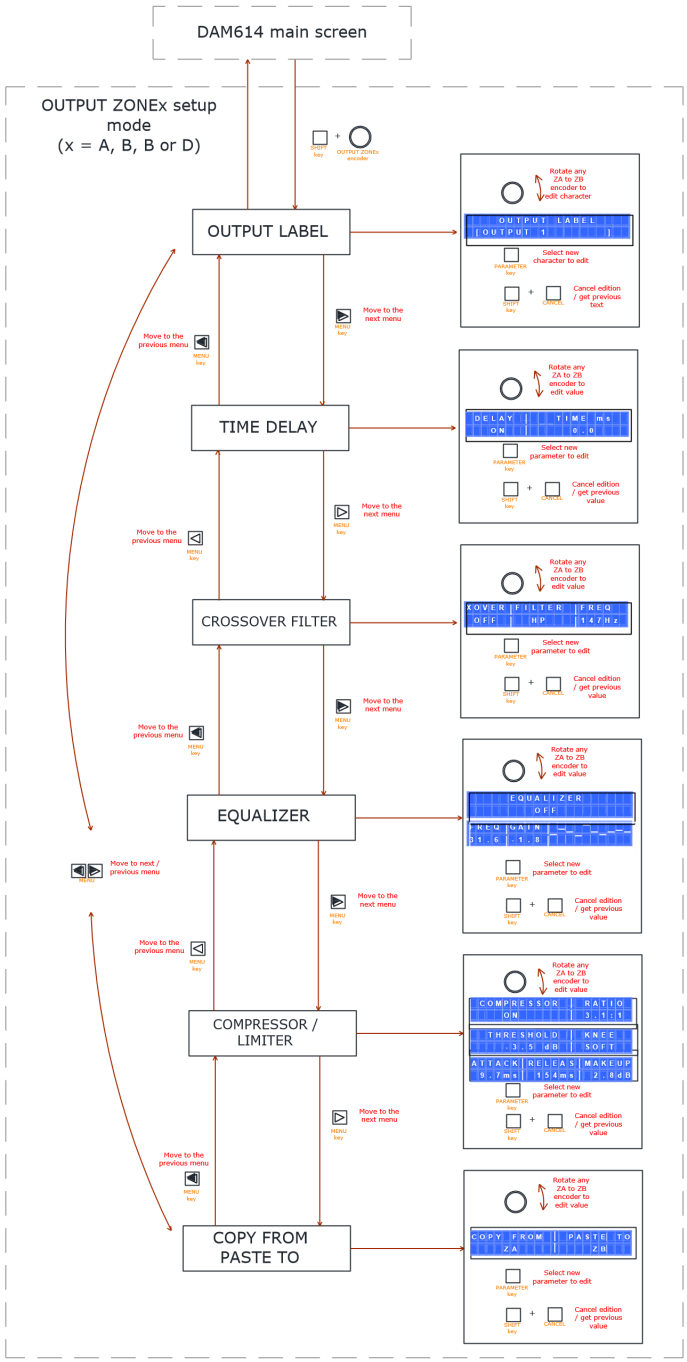
フロントパネルの OUTPUT 設定

OUTPUT の設定を編集するには、SHIFT キーを押しながら

OUTPUT ZONE A、B、C、D のエンコーダーを押します。OUTPUT のセットアップメニューに入ります。
SHIFT + EXIT を押すか、2 分待つとセットアップモードを終了します。

ある入力のセットアップモードに入ったあと、SHIFT + 別の OUTPUT ZONE エンコーダーを押すと、新しい OUTPUT の現在のセットアップメニューへ移ります。

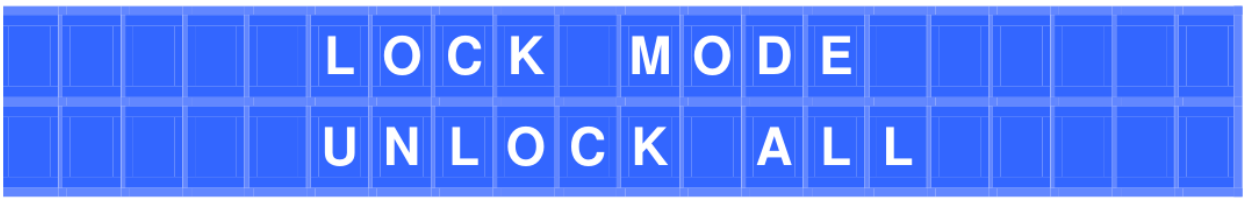
【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。



11. セットアップメニュー

DAM614 には一般セットアップメニュー（以下、SETUP メニュー）があり、REMOTE ポートに割り当てる機能、MUTE ポートの管理、LCD 表示の管理など、本体全体に影響するパラメーターがあります。

SETUP メニューを開くには、左右の MENU キーを同時に押し続けます。この 2 つのキーを同時に押すと、まずフロントパネルをロックするパスワード保護画面が開きます（段落 10 を参照）。



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

この画面が表示されたとき、SETUP メニューへ進みたい場合（段落 10 で説明するパスワード保護の管理へ進むのではなく）、右の MENU キーを押します。

新しく編集した値はリアルタイムで有効になります。SHIFT + CANCEL を押すと、編集を取り消して編集前の値に戻せます。

編集メニューを終了してメイン画面へ戻るには：

SHIFT + EXIT を押します。

フロントパネルのどのコントロールも 2 分間操作しないままにします。以下に、SETUP メニューの全体構成と選択肢を示します。

注記：

REMOTE ポート 1～4 のそれぞれは、WPaVOL-SR 壁面パネルまたは類似品に接続できます。2 つのロータリーコントロールがあります。5 段階セレクター（0、1、2、3、4）と音量コントロールです。各 REMOTE ポートは、次のいずれかのモードで動作するようプログラムできます。すべて無効：REMOTE ポートは無効で、機能はありません。入力音量：

音量コントロールは入力の全体音量に作用します。影響を受ける入力を定めるには、REMOTE INPUTS メニューを使う必要があります。

セレクターは無効です。

ゾーン音量：

音量コントロールは出力の全体音量に作用します。影響を受ける出力を定めるには、REMOTE OUTPUTS メニューを使う必要があります。

セレクターは無効です。入力セレクター：

セレクターは入力セレクターとして動作します。割り当てられた出力に対し、オフと、使える 6 入力のうち最大 4 つとのあいだで選べます。選択候補になる入力（REMOTE INPUTS メニュー）と、選択の影響を受ける出力（REMOTE OUTPUTS メニュー）を定める必要があります。

音量コントロールは無効です。入力セレクター＋入力レベル：

セレクターは入力セレクターとして動作します。割り当てられた出力に対し、オフと、使える 6 入力のうち最大 4 つとのあいだで選べます。選択候補になる入力（REMOTE INPUTS メニュー）と、選択の影響を受ける出力（REMOTE OUTPUTS メニュー）を定める必要があります。

音量コントロールは、セレクターで現在選んでいる入力と、影響を受ける各出力とのクロスポイントの音量に作用します（同じ入力ソースを、各出力ゾーンでカスタマイズした独立した音量で聞けます）。

入力セレクター＋ゾーン音量：

セレクターは入力セレクターとして動作します。割り当てられた出力に対し、オフと、使える 6 入力のうち最大 4 つとのあいだで選べます。選択候補になる入力（REMOTE INPUTS メニュー）と、選択の影響を受ける出力（REMOTE OUTPUTS メニュー）を定める必要があります。

音量コントロールは出力の全体音量に作用します。影響を受ける出力を定めるには、REMOTE OUTPUTS メニューを使う必要があります。

プリセット：P1～P5：

リモコンパネルのセレクターで、DAM614 の最初の 5 つのプリセット、P01～P05 を呼び出せます。このオプションを割り当てられる REMOTE ポートは 1 つだけです。いずれかに割り当てると、他の REMOTE ポートの選択メニューからこのオプションは消えます。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

音量コントロールは無効です。プリセット：P1～P5 + ゾーン音量：

リモコンパネルのセレクターで、DAM614 の最初の 5 つのプリセット、P01～P05 を呼び出せます。このオプションを割り当てられる REMOTE ポートは 1 つだけです。いずれかに割り当てると、他の REMOTE ポートの選択メニューからこのオプションは消えます。

音量コントロールは出力の全体音量に作用します。影響を受ける出力を定めるには、REMOTE OUTPUTS メニューを使う必要があります。マトリクス音量：

音量コントロールは、1 つまたは複数の入力と 1 つまたは複数の出力とのクロスポイントの音量に対するグループ制御として動作します。1 つの壁面パネルから、1 つまたは複数のゾーンにある 1 つまたは複数のソースの音量を制御できます。ある入力のクロスポイントが REMOTE ポートの出力に割り当てられているとき、同じ組み合わせを同時に別の REMOTE ポートへ割り当てることはできません。

セレクターは無効です。

警告：REMOTE ポートがプリセット呼び出しを行うようプログラムされているとき、同じポートが対象とするすべてのプリセットが同じ機能向けにプログラムされていることが重要です。そうでないと、REMOTE ポートから呼び出したプリセットでプリセット呼び出し機能がオフになり、同じ REMOTE ポートから新しいプリセットを呼び出せなくなることがあります。

REMOTE ポートを入出力の音量制御へ割り当てるメニューでは、入力または出力の番号の下に表示される記号の意味は次のとおりです。空白＝入力または出力はリモコンポートに未割り当て。●＝リモコンポートがその入力または出力に割り当て済み。

X＝互換性のない選択。すでに別のリモコンポートに割り当てられています。

EXTERNAL MUTE の割り当てメニューでは、リアパネルの MUTE ポート（通常開）で外部接点閉を検出しているあいだ、どの本体出力をミュートするかを選べます。

●＝出力は EXTERNAL MUTE 機能の影響を受ける。（空白）＝出力は EXTERNAL MUTE 機能の影響を受けない。

AUTOLOAD PRESET 1 オプションが「YES」のとき、機器は電源を入れるたびに、起動シーケンスの直後にプリセット番号 1 を自動で再読み込みします。

LCD 表示の調整メニュー（LCD MODE）では、スタンバイ時、つまりフロントパネルキーを数秒操作しないあとの表示の動作モードを調整できます。使えるモードは NORMAL（常時点灯）、DIMMED、OFF です。スタンバイ中、フロントパネルのコントロールを操作すると、LCD 表示は一時的に通常状態（点灯）に戻ります。コントロールを操作しないまま数秒たつと、再びスリープモードに戻ります。

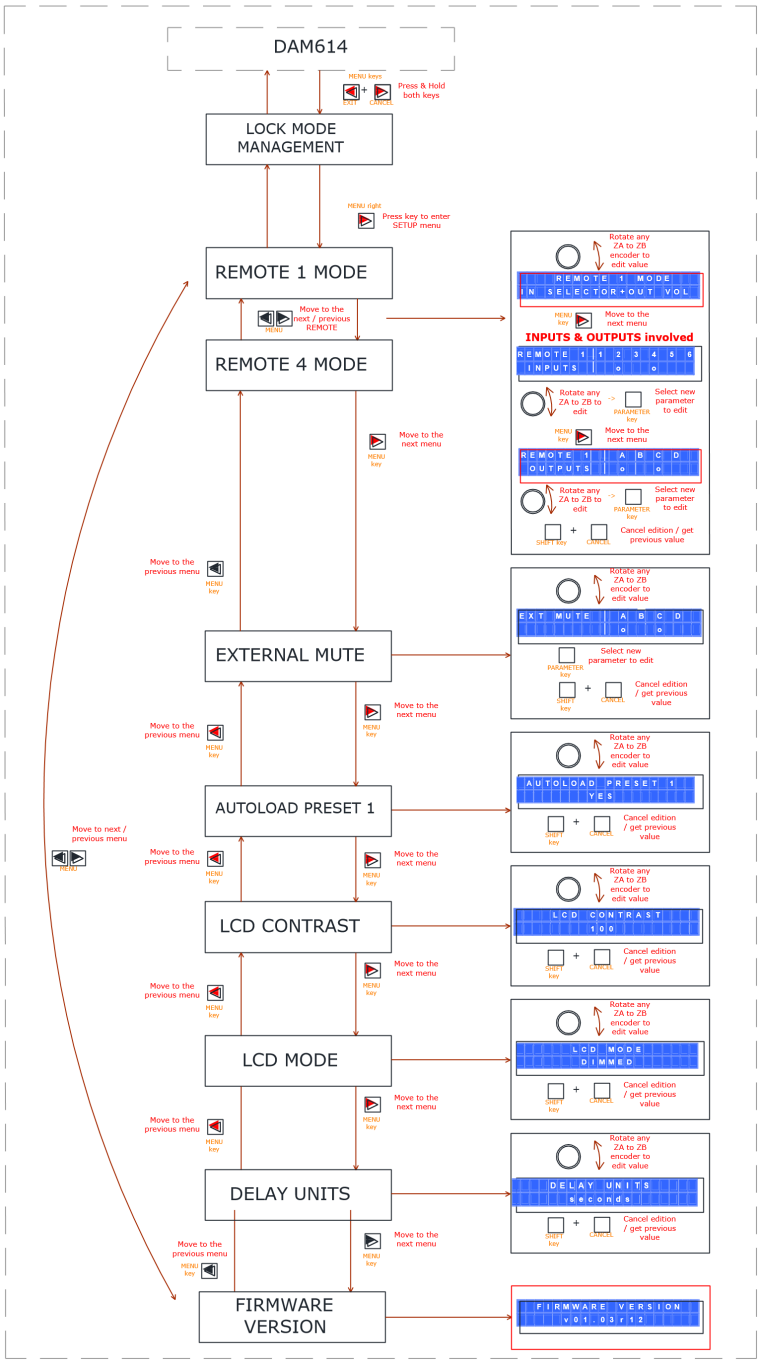
セットアップメニュー

SETUP メニューに入るには、フロントの左右の MENU キーを押し続けます。

LOCK MODE メニューが表示されたら、右の MENU キーを押すと実際に SETUP メニューへ入ります。

SHIFT + EXIT を押すか、2 分待つとセットアップモードを終了します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。



12. フロントパネルロック

DAM614 にはフロントパネルのロック機能があり、パスワードで機器への無許可のアクセスを防ぎます。

ロック機能には 4 つの動作モードがあります。

UNLOCK ALL：ロック機能は無効。機器のすべての機能とメニューにアクセスできます。

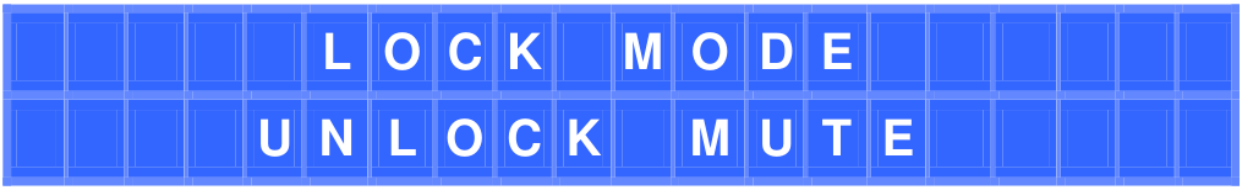
LOCK ALL：英数字パスワードを入力するまでロックは有効です。フロントパネルのコントロールは無効で、ロックメニューに入ってパスワードを入力し、再び有効にする必要があります。

UNLOCK OUTS：英数字パスワードを入力するまでロックは有効です。MUTE キーと出力音量制御を除き、フロントパネルのコントロールは無効です。ロックメニューに入ってパスワードを入力し、再び有効にする必要があります。

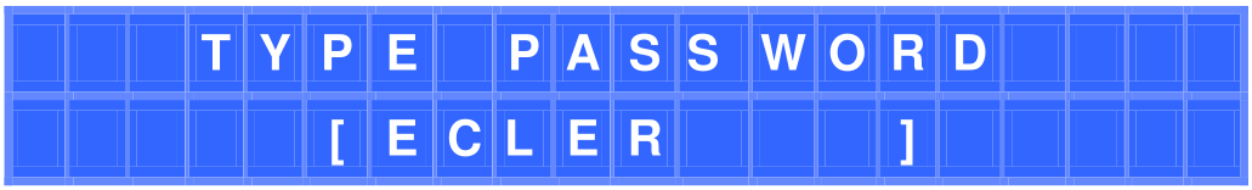
【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

UNLOCK INS&OUTS：英数字パスワードを入力するまでロックは有効です。MUTE キーと出力音量制御、ならびに入力選択とミキサーモード（各出力の入力レベル）を除き、フロントパネルのコントロールは無効です。ロックメニューに入ってパスワードを入力し、再び有効にする必要があります。

ロックメニューに入るには、左右の MENU キーを同時に 2 秒押し、LCD に次の画面が出るまで待ちます。



ロータリーコントロールで希望のロックモードを変え、SHIFT + ENTER を押して選択を確定します。パスワード保護の 3 モード（LOCK ALL、UNLOCK OUTS、UNLOCK INS&OUTS）の 1 つを選ぶと、次の画面でロックパスワードの入力を求められます。



エンコーダー（ZA～ZB）で選んだ文字を編集し、PARAMETER キーで次に編集する文字を選びます。最後に SHIFT + ENTER を押して、入力したパスワードを確定します。

パスワード編集モードでは、SHIFT + CANCEL を押すと編集を取り消して最初のパスワードに戻せます。SHIFT + CANCEL を 5 秒押すと、パスワードのすべての文字が消去され、最初から編集を始められます。

いつでも SHIFT + EXIT を押すとロックメニューを離れられます。

パスワード保護のロックモード（LOCK ALL、UNLOCK OUTS、UNLOCK INS&OUTS）のいずれかにあるとき、無効なフロントパネルコントロールを押すと、機器は次の画面を表示します。

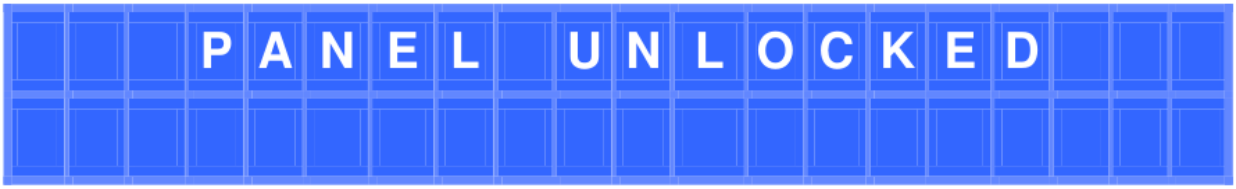


フロントパネルのコントロールを再び有効にするには、保存されたパスワードを入力する必要があります。ロックメニューに入ります（左右の MENU キーを同時に 2 秒）。次の画面が表示されます。



パスワードを入力し、SHIFT + ENTER を押して確定します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。



機器は一時的にロック解除されます。フロントパネルを 2 分間操作しないか、ロックメニューに戻る（左右の MENU を同時に 2 秒）と、ロックモードの確定または変更のため、再びパスワード要求（同じもの、または新しいもの）に戻り、確定（SHIFT + ENTER）の時点から有効になります。

機器を恒久的にロック解除するには、ロックメニューに入り、新しいロックモードとして UNLOCK ALL を選びます。

13. お手入れについて

コントロールパネルを溶剤、研磨剤、石油由来の物質でお手入れしないでください。塗装と本体の印字を傷めることがあります。

お手入れが必要なときは、水と中性液体石けんで軽く湿らせた柔らかい布を使ってください。開口部から液体が本体に入らないようにしてください。コントロールパネルを傷つける鋭い物や侵食性の物は絶対に使わないでください。

14. 図

14.1. 各部の名称と機能

INPUT 1 ミニジャックコネクター

ロータリーエンコーダー INPUT 1/2/3/4/5/6

入力表示灯

フロントパネル LCD 表示

セットアップキー、MENU / EXIT

セットアップキー、MENU / SHIFT

セットアップキー、MENU / CANCEL

セットアップキー、PARAM / ENTER

ロータリーエンコーダー OUTPUT

OUTPUT 表示灯

RCA 入力コネクター

MIC/LINE 入力

入力感度設定

MIC/LINE セレクター

MIC/LINE 入力

入力感度設定

MIC/LINE セレクター

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

MIC/LINE 入力

入力感度設定

MIC/LINE セレクター

MIC/LINE 入力

入力感度設定

MIC/LINE セレクター

RJ-45 コネクター、PAGER

遠隔音量消音制御、MUTE

RJ-45 コネクター、REMOTE

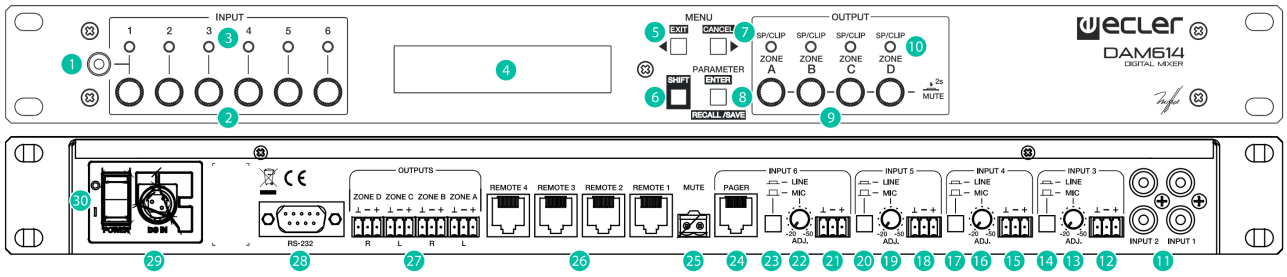
ZONE A/B/C/D 増幅出力

リモート制御、RS-232 ポート

外部 DC 電源コネクター

電源ボタン

14.2. 機能配置図



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

15. 技術仕様

DAM614	
入力1・2（LINE）	
入力感度	0 / -6dBV 内部ジャンパー で調整 0dBV 工場出荷時設定
入力インピーダンス	>13k
入力コネクター	RCAメス
入力3～6（MIC）	
入力感度	-20 / -50dBV 外部可変抵抗器で調整
入力インピーダンス	>24k 電子バランス
同相信号除去比（CMRR）	>55dB (20Hz ÷ 20kHz)
入力コネクター	端子台（バランス）
ファンタム電源電圧	+17,5 VDC (内部ジャンパー)
入力3～6（LINE）	
入力感度	0 / -6dBV 内部ジャンパー で調整 0dBV 工場出荷時設定
入力インピーダンス	>24k 電子バランス
同相信号除去比（CMRR）	>55dB (20Hz ÷ 20kHz)
入力コネクター	端子台（バランス）
ゾーン出力	
公称出力レベル	0dBV
出力インピーダンス	300Ω 電子バランス
出力コネクター	端子台（バランス）
A/D・D/A変換	24ビット / 48kHz
周波数特性	<10Hz ~ 20kHz (+0dB/ -0.5dB)
出力ノイズフロア（FFT）	>110dB (範囲： 20Hz ～ 20kHz)
THD＋ノイズ	< 0.0058% (1kHz, 1Vrms)
クロストーク	>90dB, 20Hz ÷ 20kHz
入力EQ	
形式	Baxandall方式3バンドEQ
ゲイン	-10dB ~ +10dB 0.1dB刻み
周波数	低域 200Hz 中域 1kHz 高域 6.3kHz
入力3～6のトークオーバーEQ	
形式	任意の出力ゾーンに割り当て可能。優先順位は2段階
動作モード	DUCKER／PAGER（入力6のみ）
スレッショルド	-80 / +12dBV
減衰量	0 ~ 80dB

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

アタック時間	5 ~ 2000ms
ホールド時間	10 ~ 3000ms
リリース時間	50 ~ 3000ms
チャイム（入力6のみ）	ON／OFF、音量調整可能、メロディー2種類
入力3～6のノイズゲート	
スレッショルド	-80 / +12dBV
減衰量	0 ~ 80dB
アタック時間	0.1 ~ 500ms
ホールド時間	10 ~ 3000ms
リリース時間	10 ~ 1000ms
入力3・4のその他の機能	
フィードバック抑制	周波数シフター方式
ハイパスフィルター（ハム・ポップノイズ抑制）	50 ~ 150 Hz 12dB/oct Butterworth
ゾーン出力EQ	
形式	10 バンドEQ
フィルター	周波数特性を平坦にするためQを可変
ゲイン	-10dB ~ +10dB 刻み 0.1dB
周波数	31, 63, 125, 250, 500, 1k, 2k, 4k, 8k, 16k Hz
ゾーン出力クロスオーバーフィルター	
形式	Butterworthローパス・ハイパス 12 dB/oct
周波数	20Hz ÷ 20kHz
ゾーン出力コンプレッサー	
スレッショルド	-36 / +12dBV
レシオ	1:1 ~ 1:inf (LIMITER)
ニー	ハード／ソフト
アタック時間	0.1 ~ 500ms
リリース時間	10 ~ 1000ms
メイクアップゲイン	0dB ~ +10dB
ゾーン出力ディレイ	
ディレイ時間	10 ~ 1000ms (10 ~ 343,4m)
単位	ミリ秒、秒、センチメートル、メートル
外部ミュート	
設定	ノーマルオープン。任意の出力ゾーンに割り当て可能
リモート制御	
対応リモート機器	WPaVOL-SR、最大4台

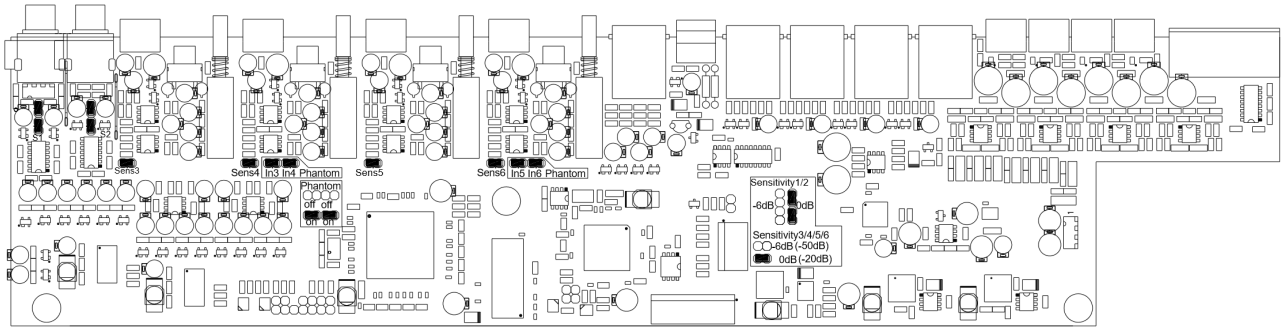
【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

設定	入力音量 ゾーン音量 入力選択 プリセット選択
一般仕様	
DC電源	±17,5 VDC
AC電源	100-240VAC + 外部電源 17,5VDC
消費電力	12W
寸法（幅×高さ×奥行き）	482,6x44x120mm 19x1.7x4.7 in.
質量	2,00 kg 4.4 lb

16. 設定図

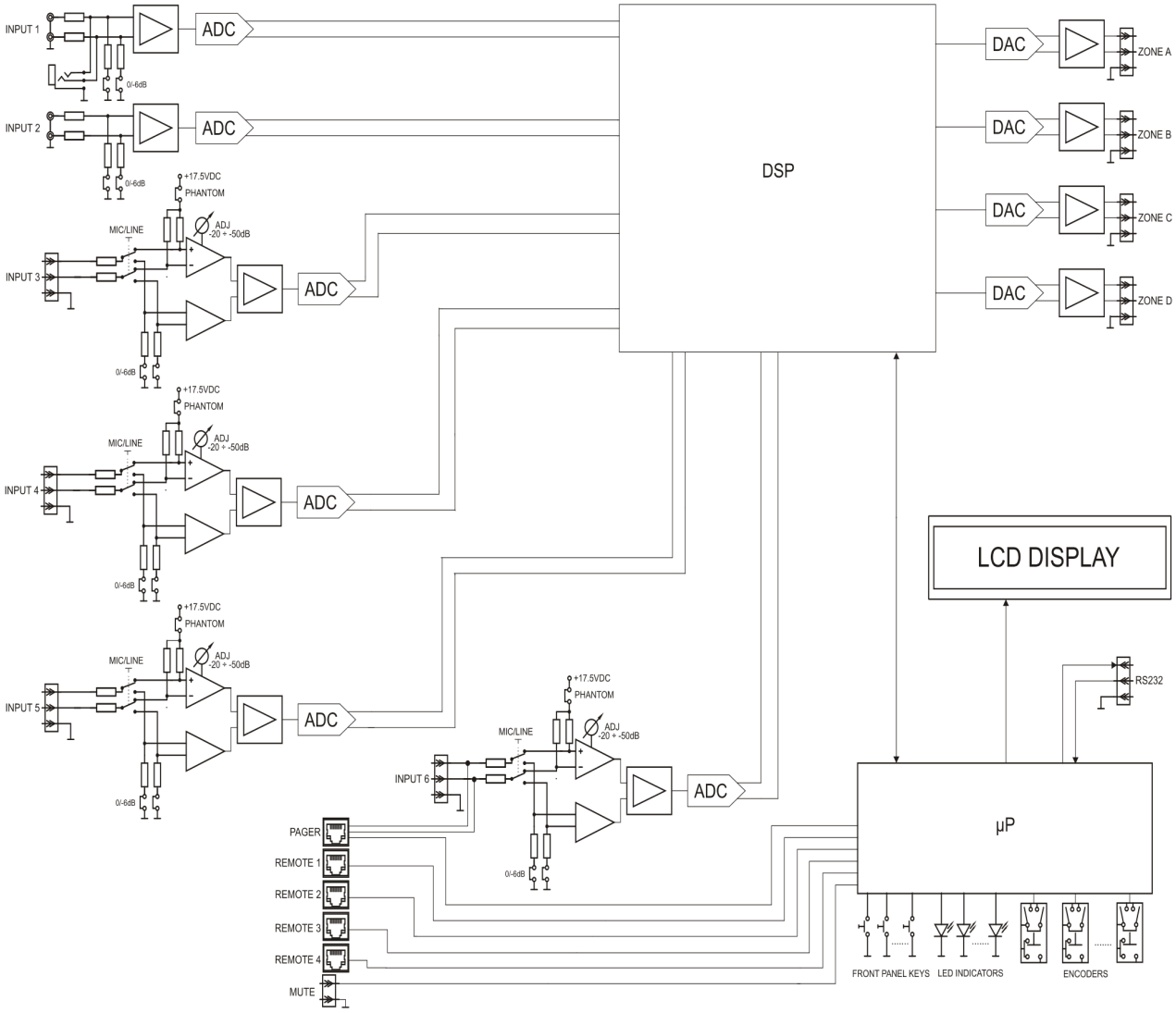
ジャンパーの工場出荷設定

ファンタム： 入力 1/2 の感度：	オン 0 dB
入力 3 の感度（LINE L）：	0 dB
入力 3 の感度（LINE R）：	0 dB
入力 4 の感度（LINE L）： 入力 4 の感度（LINE R）：	0 dB 0 dB



【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

17. ブロック図



18. CA-NET RS-232 リモート制御プロトコル

CA および DAM シリーズ機器のリアパネル内蔵 RS-232 ポートにより、シリアル接続で外部機器と通信できます。この接続は Ecler TP-NET プロトコルとよく似た構文を使い、クライアント機器が CA／DAM 機器（例：DAM614 デジタルオーディオミキサー）の音量、ミュート、音質調整のトーンなどのパラメーター値を取得および設定できます。

RS-232 シリアル通信は、次の仕様を満たす必要があります。

ボーレート：9600（固定、自動ネゴシエーションなし）

データビット：8

パリティ：なし

ストップビット：1

フロー制御：なし

複数のクライアントから同一の CA／DAM 機器へ、RS-232 接続で同時に複数アクセスすることはできません。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

プロトコルは単純で直接的、構文も扱いやすく、生成したコードの読み取り、記述、変更が容易です。開始の区切り文字がないメッセージに基づきます。各メッセージは RS-232 パケット長で自己完結し、最大 80 の ASCII 文字と定義され、各メッセージの末尾には必ず文字 LF（0x0A）を含みます。すべてのメッセージは大文字で記述する必要があります。

一部の制御システム（EXTRON®、CRESTRON®、AMX®、RTI®、VITY®、MEDIALON® など）がメッセージを処理しやすくするため、CA／DAM 機器は送信する各メッセージの末尾に文字 LF（0x0A）を付加します。これにより、CA／DAM 機器のクライアントは、必要に応じて受信メッセージをバッファして処理できます。CA／DAM 機器は、LF 区切りを使い、1 つの RS-232 パケットで受け取った複数のメッセージも処理できます。

利用できるメッセージは、空白で区切った 1 つ以上のフィールドで構成されます（空白 = スペース）：

<TYPE> [PARAM1] [PARAM2] [PARAM3] [PARAM4][LF]

最初のフィールド（TYPE）がメッセージ種別を定め、その後にそのメッセージに必要なパラメーターが続きます（メッセージの種類ごとに、必要なパラメーター数は決まっています）。フィールド TYPE は次の値を取れます。

GET

SET

DATA

ERROR

本書の末尾に、CA-NET 対応機器の各モデルで利用できるすべてのメッセージとそのパラメーターを含む表があります。

GET および SET のメッセージは、クライアント（制御システム）から CA／DAM 機器へ送れます。DATA および ERROR のメッセージは、CA／DAM 機器からクライアントへのみ送れます。

クライアント機器から来る SET メッセージには、CA／DAM 機器が SET コマンドを処理したあとに DATA メッセージを送る自動確認応答はありません。クライアントは自分で値を更新し、機器からの確認が必要なときは、パラメーターの値を尋ねる GET メッセージを送らなければなりません。一方、CA／DAM 本体でローカル操作が行われた場合（たとえばフロントパネルの操作部や赤外線リモコンを使った場合）、CA／DAM 機器はクライアント機器との同期を保つため、対応する DATA コマンドを RS-232 インターフェースから自動的に送ります。

DAM614 に関する注記：

<RemoteMode> パラメーター

もともと、音量つまみと 5 ポジションのセレクターつまみを持つ WPaVOL-SR（または WPTOUCH）壁面パネルを、DAM614 の REMOTE ポートに接続するために設計されています。本体の使える 4 つのリモコンポート（R1～R4）の動作モード（REMOTE_MODE コマンド）は次のとおりです。

DISABLED

IN_VOL：1 つまたは複数の入力の音量制御（処理後の全体に影響する一般入力音量）

ZONE_VOL：1 つまたは複数のゾーン出力の音量制御。IN_SEL：1 つまたは複数の出力ゾーンに対する 1 つの入力（ソース）選択（5 ポジションセレクター）

IN_SEL_IN_LEVEL：1 つまたは複数の出力ゾーンに対する 1 つの入力（ソース）選択（5 ポジションセレクター）＋選んだ入力の宛先ゾーンへのクロスポイントレベルの制御

IN_SEL_ZONE_VOL：1 つまたは複数の出力ゾーンに対する 1 つの入力（ソース）選択（5 ポジションセレクター）＋影響を受けるゾーンの出力音量の制御

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

PRESET：P1～P5 のプリセット呼び出し（5 ポジションセレクター）。PRESET_ZONE_VOL：P1～P5 のプリセット呼び出し（5 ポジションセレクター）＋ 1 つまたは複数のゾーン出力の音量制御

MATRIX_VOL：原本42ページには動作説明がありません。設定は、使用する機種とファームウェアに対応した項目を選択してください。

TALKOVER_MODE コマンドの PAGER／DUCKER パラメーター：

INPUT 6 は、トークオーバー機能を PAGER または DUCKER モードで使えます。PAGER モードには、宛先ゾーンを選びページングを行う外部ページングステーション（MPAGE4）が必要です（DAM614）。

入力 3、4、5 は、トークオーバー機能を DUCKER モードだけで使えます（DAM614）。

DAM614

ステレオ入力の設定

原本47ページのSET
IN_STEREOの説明は入力4および5、パラメーター欄はI3:I6と記載しています。一方、操作説明11ページでは入力3・4と5・6の組を示しています。ステレオリンクは、連動させる左右のチャンネルに対して設定してください。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御プロトコルのコマンド一覧（原本ページ別）

制御コマンド（原本 43ページ）

コマンドとパラメーター	説明
GET ALL	現在の機器の状態をDATAメッセージで送出します。
GET INFO_MODEL	機器のモデル名を取得します
GET INFO_VERSION	現在のファームウェアバージョンを取得します
GET AUTOLOAD_PRESET1	起動時の AUTOLOAD_PRESET1 機能の現在値を取得します
GET PRESET_NUMBER	現在の PRESET 番号を取得します
GET PRESET_NAME <Preset=P1:P20> <Preset=T1:T9>	特定の PRESET（P1～P20）または TEMPLATE（T1～T9）の名前を取得します。
GET REMOTE_MODE <Remote=R1:R4>	特定の REMOTE ポート（R1～R4）の動作モードを取得します。
GET REMOTE_INPUTS <Remote=R1:R4>	特定の REMOTE ポート（R1～R4）の動作モードが影響する入力の一覧を取得します。
GET REMOTE_ZONES <Remote=R1:R4>	特定の REMOTE ポート（R1～R4）の動作モードが影響する出力の一覧を取得します。
GET DISPLAY_MODE	現在の LCD 表示モードを取得します。
GET LCD_CONTRAST	現在の LCD 表示コントラストレベルを取得します。
GET EXT_MUTE_ZONES	MUTE ポートに接続した外部接点閉でミュートする出力を取得します。
GET IN_LABEL <Input=I1:I6>	指定した INPUT の現在の LABEL（名前）を取得します。
GET IN_STEREO <Input=I3:I6>	入力 3 と 4 の現在のステレオリンク状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET IN_MUTE <Input=I1:I6>	指定した INPUT の現在の MUTE 状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET IN_VOL <Input=I1:I6>	指定した INPUT の現在の音量を取得します（処理後の全体に影響する一般入力音量）。
GET IN_BASS <Input=I1:I6>	指定した INPUT の現在の BASS トーンレベルを取得します。
GET IN_MID <Input=I1:I6>	指定した INPUT の現在の MIDDLE トーンレベルを取得します。
GET IN_TREBLE <Input=I1:I6>	指定した INPUT の現在の TREBLE トーンレベルを取得します。
GET HPF_ACTIVE <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のハイパスフィルター状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET HPF_FREQUENCY <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のハイパスフィルター周波数（Hz）を取得します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 44ページ）

コマンドとパラメーター	説明
GET FBS_ACTIVE <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のフィードバック抑制機能の状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET GATE_ACTIVE <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のノイズゲート状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET GATE_THRESHOLD <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のノイズゲートスレッショルドレベル（dB×10）を取得します。
GET GATE_DEPTH <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のノイズゲート DEPTH（ゲート閉時の減衰、dB×10）を取得します。
GET GATE_ATTACK <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のノイズゲートアタック時間（ミリ秒×10）を取得します。
GET GATE_HOLD <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のノイズゲートホールド時間（ミリ秒×10）を取得します。
GET GATE_RELEASE <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在のノイズゲートリリース時間（ミリ秒×10）を取得します。
GET TALKOVER_ACTIVE <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在の TALKOVER 状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET TALKOVER_MODE <Input=I3:I6>	指定した INPUT の TALKOVER 機能の動作モード（PAGER または DUCKER）を取得します。
GET TALKOVER_PRIORITY <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在の TALKOVER 優先度（LOW または HIGH）を取得します。
GET TALKOVER_ZONES <Input=I3:I6>	指定した INPUT の出力（ゾーン）への現在の TALKOVER 割り当てを取得します。
GET TALKOVER_THRESHOLD <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在の TALKOVER スレッショルドレベル（dB×10）を取得します。
GET TALKOVER_DEPTH <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在の TALKOVER DEPTH（減衰、dB×10）を取得します。
GET TALKOVER_ATTACK <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在の TALKOVER アタック時間（ミリ秒×10）を取得します。
GET TALKOVER_HOLD <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在の TALKOVER ホールド時間（ミリ秒×10）を取得します。
GET TALKOVER_RELEASE <Input=I3:I6>	指定した INPUT の現在の TALKOVER リリース時間（ミリ秒×10）を取得します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 45ページ）

コマンドとパラメーター	説明
GET CHIME_MELODY <Input=I3:I6>	PAGER モードの TALKOVER 機能で選ばれている現在のチャイムメロディを取得します。
GET CHIME_VOL <Input=I3:I6>	PAGER モードの TALKOVER 機能に調整された現在のチャイムメロディ音量（dB×10）を取得します。
GET XSELECT <Input=I1:I6> <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンにおける指定 INPUT の現在のクロスポイント選択状態（オン＝入力有効、またはオフ＝入力ミュート）を取得します。
GET XLEVEL <Input=I1:I6> <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンにおける指定 INPUT の現在のクロスポイントレベル（ミックスレベル）を取得します。
GET ZONE_LABEL <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在の LABEL（名前）を取得します。
GET ZONE_STEREO <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のステレオリンク状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET ZONE_MUTE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在の MUTE 状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET ZONE_VOL <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在の音量を取得します。
GET GEQ_ACTIVE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のグラフィックイコライザー状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET GEQ_GAIN <Zone=ZA:ZD> <Band=B1:B10>	指定した出力ゾーンのグラフィックイコライザーの 1 バンド（B1〜B10）の現在のゲイン（dB×10）を取得します。
GET XOVER_ACTIVE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET XOVER_TYPE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター種類（LP または HP）を取得します。
GET XOVER_FREQUENCY <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター周波数（Hz）を取得します。
GET COMPRESSOR_ACTIVE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサー状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET COMPRESSOR_THRESHOLD <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサースレッショルドレベル（dB×10）を取得します。
GET COMPRESSOR_RATIO <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーレシオ（×100）を取得します。
GET COMPRESSOR_ATTACK <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーアタック時間（ミリ秒×10）を取得します。
GET COMPRESSOR_RELEASE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーリリース時間（ミリ秒×10）を取得します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 46ページ）

コマンドとパラメーター	説明
GET COMPRESSOR_KNEE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーニーモード（ソフトまたはハード）を取得します。
GET COMPRESSOR_GAIN <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーゲイン（dB×10）を取得します。
GET DELAY_ACTIVE <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のディレイ状態（オンまたはオフ）を取得します。
GET DELAY_TIME <Zone=ZA:ZD>	指定した出力ゾーンの現在のディレイ時間（ミリ秒×10）を取得します。

制御コマンド（原本 47ページ）

コマンドとパラメーター	説明
SET AUTOLOAD_PRESET1 ON/OFF	起動時のAUTOLOAD_PRESET1機能の現在の設定を変更します。
SET PRESET_NUMBER <Preset=P1:P20> <Preset=T1:T9>	指定した番号のプリセットを読み込みます。
SET LOAD_PRESET <Preset=P1:P20> <Preset=T1:T9>	指定した番号のプリセットを読み込みます（PRESET_NUMBERと同じ機能）。
SET SAVE_PRESET <Preset=P1:P20> “<Name>”	現在の設定を、指定したプリセット位置（P1～P20）に指定したラベル（名前）で保存します。ラベルに空白を含められるよう、名前を引用符で囲みます。
SET REMOTE_MODE <Remote=R1:R4> <RemoteMode>	指定したREMOTEポート（R1～R4）の動作モードを設定します。有効なモードはDISABLED、IN_VOL、ZONE_VOL、IN_SEL、IN_SEL_IN_LEVEL、IN_SEL_ZONE_VOL、PRESET、PRESET_ZONE_VOLです。
SET REMOTE_INPUTS <Remote=R1:R4> <Inputs=I1:I6>	指定したREMOTEポート（R1～R4）の動作モードが作用する入力の一覧を設定します。InputsにはI1～I6を、空白を入れずにカンマで区切って指定できます（例：I1,I2,I3）。
SET REMOTE_ZONES <Remote=R1:R4> <Zones=ZA:ZD>	指定したREMOTEポート（R1～R4）の動作モードが作用する出力の一覧を設定します。ZonesにはZA～ZDを、空白を入れずにカンマで区切って指定できます（例：ZA,ZC,ZD）。
SET DISPLAY_MODE <DisplayMode>	現在のLCD表示モード（NORMAL、DIMMED、OFF）を設定します。
SET LCD_CONTRAST <Contrast=0:100 >	現在のLCD表示コントラストを設定します。
SET EXT_MUTE_ZONES <Zones=ZA:ZD>	MUTEポートに接続した外部接点を閉じたときにミュートする出力の一覧を設定します。ZonesにはZA～ZDを、空白を入れずにカンマで区切って指定できます（例：ZA,ZC,ZD）。
SET IN_LABEL <Input=I1:I6> “<Label>”	指定した入力の現在のラベル（名前）を設定します。空白を含められるよう、ラベルを引用符で囲みます。
SET IN_STEREO <Input=I3:I6> ON/OFF	入力4および5の現在のステレオリンク状態（ONまたはOFF）を設定します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 48ページ）

コマンドとパラメーター	説明
SET IN_MUTE <Input=I1:I6> ON/OFF	指定した入力の現在のミュート状態（ONまたはOFF）を設定します。
SET IN_VOL <Input=I1:I6> <Volume=0:99>	指定した入力の現在の音量を設定します（後段のすべての処理に作用する全体入力音量）。
SET IN_BASS <Input=I1:I6> <Gain=dBx10>	指定した入力の現在の低域トーンレベルを設定します。
SET IN_MID <Input=I1:I6> <Gain=dBx10>	指定した入力の現在の中域トーンレベルを設定します。
SET IN_TREBLE <Input=I1:I6> <Gain=dBx10>	指定した入力の現在の高域トーンレベルを設定します。
SET HPF_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在のハイパスフィルター状態（オンまたはオフ）を取得します。
SET HPF_FREQUENCY <Input=I3:I6> <Frequency=Hz>	指定した INPUT の現在のハイパスフィルター周波数（Hz）を取得します。
SET FBS_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在のフィードバック抑制機能の状態（オンまたはオフ）を取得します。
SET GATE_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在のノイズゲート状態（オンまたはオフ）を取得します。
SET GATE_THRESHOLD <Input=I3:I6> <Threshold=dBx10>	指定した INPUT の現在のノイズゲートスレッショルドレベル（dB×10）を取得します。
SET GATE_DEPTH <Input=I3:I6> <Depth=dBx10>	指定した INPUT の現在のノイズゲート DEPTH（ゲート閉時の減衰、dB×10）を取得します。
SET GATE_ATTACK <Input=I3:I6> <AttackTime=msx10>	指定した INPUT の現在のノイズゲートアタック時間（ミリ秒×10）を取得します。
SET GATE_HOLD <Input=I3:I6> <HoldTime=msx10>	指定した INPUT の現在のノイズゲートホールド時間（ミリ秒×10）を取得します。
SET GATE_RELEASE <Input=I3:I6> <ReleaseTime=msx10 >	指定した INPUT の現在のノイズゲートリリース時間（ミリ秒×10）を取得します。
SET TALKOVER_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在の TALKOVER 状態（オンまたはオフ）を取得します。
SET TALKOVER_MODE <Input=I3:I6> PAGER/DUCKER	指定した INPUT の TALKOVER 機能の動作モード（PAGER または DUCKER）を取得します。
SET TALKOVER_PRIORITY <Input=I3:I6> LOW/HIGH	指定した INPUT の現在の TALKOVER 優先度（LOW または HIGH）を取得します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 49ページ）

コマンドとパラメーター	説明
SET TALKOVER_ZONES <Input=I3:I6> <Zones=ZA:ZD>	指定した INPUT の出力（ゾーン）への現在の TALKOVER 割り当てを設定します。ゾーンパラメーターには ZA～ZD を含められ、カンマ区切りで空白は入れません（例：ZA,ZC,ZD）
SET TALKOVER_THRESHOLD <Input=I3:I6> <Threshold=dBx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER スレッショルドレベル（dB×10）を設定します。
SET TALKOVER_DEPTH <Input=I3:I6> <Depth=dBx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER DEPTH（減衰、dB×10）を設定します。
SET TALKOVER_ATTACK <Input=I3:I6> <AttackTime=msx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER アタック時間（ミリ秒×10）を設定します。
SET TALKOVER_HOLD <Input=I3:I6> <HoldTime=msx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER ホールド時間（ミリ秒×10）を設定します。
SET TALKOVER_RELEASE <Input=I3:I6> <ReleaseTime=msx10 >	指定した INPUT の現在の TALKOVER リリース時間（ミリ秒×10）を設定します。
SET CHIME_MELODY <Input=I3:I6> <ChimeMelody>	PAGER モードの TALKOVER 機能で選ぶ現在のチャイムメロディを設定します。
SET CHIME_VOL <Input=I3:I6> <Volume=dBx10>	PAGER モードの TALKOVER 機能に調整する現在のチャイムメロディ音量（dB×10）を設定します。
SET XSELECT <Input=I1:I6> <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンにおける指定 INPUT の現在のクロスポイント選択状態（オン＝入力有効、またはオフ＝入力ミュート）を設定します。
SET XLEVEL <Input=I1:I6> <Zone=ZA:ZD> <Level=0:99>	指定した出力ゾーンにおける指定 INPUT の現在のクロスポイントレベル（ミックスレベル）を設定します。
SET ZONE_LABEL <Zone=ZA:ZD> “<Label>”	指定した出力ゾーンの現在の LABEL（名前）を設定します（ラベル内の空白を許すため引用符で囲みます）
SET ZONE_STEREO <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のステレオリンク状態（オンまたはオフ）を設定します。
SET ZONE_MUTE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在の MUTE 状態（オンまたはオフ）を設定します。
SET ZONE_VOL <Zone=ZA:ZD> <Volume=0:99>	指定した出力ゾーンの現在の音量を設定します。
SET GEQ_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のグラフィックイコライザー状態（オンまたはオフ）を設定します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 50ページ）

コマンドとパラメーター	説明
SET GEQ_GAIN <Zone=ZA:ZD> <Band=B1:B10> <Gain=dBx10 >	指定した出力ゾーンのグラフィックイコライザーの1バンド（B1～B10）の現在のゲイン（dB×10）を設定します。
SET XOVER_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター状態（オンまたはオフ）を設定します。
SET XOVER_TYPE <Zone=ZA:ZD> LP/HP	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター種類（LP または HP）を設定します。
SET XOVER_FREQUENCY <Zone=ZA:ZD> <Frequency=Hz>	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター周波数（Hz）を設定します。
SET COMPRESSOR_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサー状態（オンまたはオフ）を設定します。
SET COMPRESSOR_THRESHOLD <Zone=ZA:ZD> <Threshold=dBx10>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサースレッショルドレベル（dB×10）を設定します。
SET COMPRESSOR_RATIO <Zone=ZA:ZD> <Ratio=x100>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーレシオ（×100）を設定します。
SET COMPRESSOR_ATTACK <Zone=ZA:ZD> <AttackTime=msx10>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーアタック時間（ミリ秒×10）を設定します。
SET COMPRESSOR_RELEASE <Zone=ZA:ZD> <ReleaseTime=msx10 >	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーリリース時間（ミリ秒×10）を設定します。
SET COMPRESSOR_KNEE <Zone=ZA:ZD> SOFT/HARD	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーニーモード（ソフトまたはハード）を設定します。
SET COMPRESSOR_GAIN <Zone=ZA:ZD> <Gain=dBx10>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーゲイン（dB×10）を設定します。
SET DELAY_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のディレイ状態（オンまたはオフ）を設定します。
SET DELAY_TIME <Zone=ZA:ZD> <DelayTime=msx10>	指定した出力ゾーンの現在のディレイ時間（ミリ秒×10）を設定します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 51ページ）

コマンドとパラメーター	説明
DATA INFO_MODEL <DeviceModel>	機器のモデル名を通知します
DATA INFO_VERSION <FirmwareVersi on>	現在のファームウェアバージョンを通知します
DATA AUTOLOAD_PRESET1 ON/OFF	起動時の AUTOLOAD_PRESET1 機能の現在値を通知します
DATA PRESET_NUMBER <Preset=P1:P20 > <Preset=T1:T9>	現在の PRESET 番号を通知します
DATA PRESET_NAME <Preset=P1:P20 > <Preset=T1:T9> “<Name>”	特定の PRESET（P1～P20）または TEMPLATE（T1～T9）の名前を通知します。
DATA PRESET_DONE <Preset=P1:P20 > <Preset=T1:T9>	直前の SET LOAD_PRESET または SET PRESET_NUMBER コマンドが処理されたことを示します。プリセットは読み込まれ、有効です。
DATA REMOTE_MODE <Remote=R1:R4 > <RemoteMode>	特定の REMOTE ポート（R1～R4）の動作モードを通知します。
DATA REMOTE_INPUTS <Remote=R1:R4 > <Inputs=I1:I6>	特定の REMOTE ポート（R1～R4）の動作モードが影響する入力の一覧を通知します。
DATA REMOTE_ZONES <Remote=R1:R4 > <Zones=ZA:ZD>	特定の REMOTE ポート（R1～R4）の動作モードが影響する出力の一覧を通知します。
DATA DISPLAY_MODE <DisplayMode>	現在の LCD 表示モードを通知します。
DATA LCD_CONTRAST <Contrast=0:10 0>	現在の LCD 表示コントラストレベルを通知します。
DATA EXT_MUTE_ZONES <Zones=ZA:ZD>	MUTE ポートに接続した外部接点閉でミュートする出力を通知します。
DATA IN_LABEL <Input=I1:I6> “<Label>”	指定した INPUT の現在の LABEL（名前）を通知します。
DATA IN_STEREO <Input=I3:I6> ON/OFF	入力 4 と 5 の現在のステレオリンク状態（オンまたはオフ）を通知します。
DATA IN_MUTE <Input=I1:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在の MUTE 状態（オンまたはオフ）を通知します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 52ページ）

コマンドとパラメーター	説明
DATA IN_VOL <Input=I1:I6> <Volume=0:99>	指定した入力の現在の音量を通知します（後段のすべての処理に作用する全体入力音量）。
DATA IN_BASS <Input=I1:I6> <Gain=dBx10>	指定した入力の現在の低域トーンレベルを通知します。
DATA IN_MID <Input=I1:I6> <Gain=dBx10>	指定した入力の現在の中域トーンレベルを通知します。
DATA IN_TREBLE <Input=I1:I6> <Gain=dBx10>	指定した入力の現在の高域トーンレベルを通知します。
DATA HPF_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在のハイパスフィルター状態（オンまたはオフ）を取得します。
DATA HPF_FREQUENCY <Input=I3:I6> <Frequency=Hz>	指定した INPUT の現在のハイパスフィルター周波数（Hz）を取得します。
DATA FBS_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在のフィードバック抑制機能の状態（オンまたはオフ）を取得します。
DATA GATE_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在のノイズゲート状態（オンまたはオフ）を取得します。
DATA GATE_THRESHOLD <Input=I3:I6> <Threshold=dBx10>	指定した INPUT の現在のノイズゲートスレッショルドレベル（dB×10）を取得します。
DATA GATE_DEPTH <Input=I3:I6> <Depth=dBx10>	指定した INPUT の現在のノイズゲート DEPTH（ゲート閉時の減衰、dB×10）を取得します。
DATA GATE_ATTACK <Input=I3:I6> <AttackTime=ms>	指定した INPUT の現在のノイズゲートアタック時間（ミリ秒×10）を取得します。
DATA GATE_HOLD <Input=I3:I6> <HoldTime=ms>	指定した INPUT の現在のノイズゲートホールド時間（ミリ秒×10）を取得します。
DATA GATE_RELEASE <Input=I3:I6> <ReleaseTime=ms>	指定した INPUT の現在のノイズゲートリリース時間（ミリ秒×10）を取得します。
DATA TALKOVER_ACTIVE <Input=I3:I6> ON/OFF	指定した INPUT の現在の TALKOVER 状態（オンまたはオフ）を取得します。
DATA TALKOVER_MODE <Input=I3:I6> PAGER/DUCKER	指定した INPUT の TALKOVER 機能の動作モード（PAGER または DUCKER）を取得します。
DATA TALKOVER_PRIORITY <Input=I3:I6> LOW/HIGH	指定した INPUT の現在の TALKOVER 優先度（LOW または HIGH）を取得します。
DATA TALKOVER_ZONES <Input=I3:I6> <Zones=ZA:ZD>	指定した入力の出力（ZONES）への現在のTALKOVER割り当てを通知します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 53ページ）

コマンドとパラメーター	説明
DATA TALKOVER_THRESHOLD <Input=I3:I6> <Threshold=dBx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER スレッショルドレベル（dB×10）を表示します。
DATA TALKOVER_DEPTH <Input=I3:I6> <Depth=dBx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER DEPTH（減衰、dB×10）を表示します。
DATA TALKOVER_ATTACK <Input=I3:I6> <AttackTime=msx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER アタック時間（ミリ秒×10）を表示します。
DATA TALKOVER_HOLD <Input=I3:I6> <HoldTime=msx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER ホールド時間（ミリ秒×10）を表示します。
DATA TALKOVER_RELEASE <Input=I3:I6> <ReleaseTime=msx10>	指定した INPUT の現在の TALKOVER リリース時間（ミリ秒×10）を表示します。
DATA CHIME_MELODY <Input=I3:I6> <ChimeMelody>	PAGER モードの TALKOVER 機能で選ばれている現在のチャイムメロディを表示します。
DATA CHIME_VOL <Input=I3:I6> <Volume=dBx10>	PAGER モードの TALKOVER 機能に調整された現在のチャイム音量（dB×10）を表示します。
DATA XSELECT <Input=I1:I6> <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンにおける指定 INPUT の現在のクロスポイント選択状態（オン＝入力有効、またはオフ＝入力ミュート）を表示します。
DATA XLEVEL <Input=I1:I6> <Zone=ZA:ZD> <Level=0:99>	指定した出力ゾーンにおける指定 INPUT の現在のクロスポイントレベル（ミックスレベル）を表示します。
DATA ZONE_LABEL <Zone=ZA:ZD> “<Label>”	指定した出力ゾーンの現在の LABEL（名前）を表示します。
DATA ZONE_STEREO <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のステレオリンク状態（オンまたはオフ）を表示します。
DATA ZONE_MUTE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在の MUTE 状態（オンまたはオフ）を表示します。
DATA ZONE_VOL <Zone=ZA:ZD> <Volume=0:99>	指定した出力ゾーンの現在の音量を表示します。
DATA GEQ_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のグラフィックイコライザー状態（オンまたはオフ）を表示します。
DATA GEQ_GAIN <Zone=ZA:ZD> <Band=B1:B10> <Gain=dBx10 >	指定した出力ゾーンのグラフィックイコライザーの 1 バンド（B1～B10）の現在のゲイン（dB×10）を表示します。
DATA XOVER_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター状態（オンまたはオフ）を表示します。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

制御コマンド（原本 54ページ）

コマンドとパラメーター	説明
DATA XOVER_TYPE <Zone=ZA:ZD> LP/HP	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター種類（LP または HP）を通知します。
DATA XOVER_FREQUENCY <Zone=ZA:ZD> <Frequency=Hz>	指定した出力ゾーンの現在のクロスオーバーフィルター周波数（Hz）を通知します。
DATA COMPRESSOR_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサー状態（オンまたはオフ）を通知します。
DATA COMPRESSOR_THRESHOLD <Zone=ZA:ZD> <Threshold=dBx10>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサースレッショルドレベル（dB×10）を通知します。
DATA COMPRESSOR_RATIO <Zone=ZA:ZD> <Ratio=x100>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーレシオ（×100）を通知します。
DATA COMPRESSOR_ATTACK <Zone=ZA:ZD> <AttackTime=msx10>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーアタック時間（ミリ秒×10）を通知します。
DATA COMPRESSOR_RELEASE <Zone=ZA:ZD> <ReleaseTime=msx10>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーリリース時間（ミリ秒×10）を通知します。
DATA COMPRESSOR_KNEE <Zone=ZA:ZD> SOFT/HARD	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーニーモード（ソフトまたはハード）を通知します。
DATA COMPRESSOR_GAIN <Zone=ZA:ZD> <Gain=dBx10>	指定した出力ゾーンの現在のコンプレッサーゲイン（dB×10）を通知します。
DATA DELAY_ACTIVE <Zone=ZA:ZD> ON/OFF	指定した出力ゾーンの現在のディレイ状態（オンまたはオフ）を通知します。
DATA DELAY_TIME <Zone=ZA:ZD> <DelayTime=msx10>	指定した出力ゾーンの現在のディレイ時間（ミリ秒×10）を通知します。

制御コマンド（原本 55ページ）

コマンドとパラメーター	説明
INC/DEC PRESET_NUMBER <Count>	現在の PRESET 番号を取得します
INC/DEC IN_VOL <Input=I1:I6> <Count>	特定の INPUT の現在の音量を増減します。適用する増分は Count パラメーター（dB×10）で定めます。
INC/DEC IN_BASS <Input=I1:I6> <Count>	特定の INPUT の現在の BASS トーンレベルを増減します。適用する増分は Count パラメーター（dB×10）で定めます。
INC/DEC IN_MID <Input=I1:I6> <Count>	特定の INPUT の現在の MIDDLE トーンレベルを増減します。適用する増分は Count パラメーター（dB×10）で定めます。
INC/DEC IN_TREBLE <Input=I1:I6> <Count>	特定の INPUT の現在の TREBLE トーンレベルを増減します。適用する増分は Count パラメーター（dB×10）で定めます。
INC/DEC XLEVEL <Input=I1:I6> <Zone=ZA:ZD> <Count>	特定のクロスポイントの現在の音量（入力から出力に送るマトリクスレベル）を増減します。増減量はCountパラメーター（dB×10）で指定します。
INC/DEC ZONE_VOL <Zone=ZA:ZD> <Count>	特定の出力ゾーンの現在の音量を増減します。適用する増分は Count パラメーター（dB×10）で定めます。
INC/DEC GEQ_GAIN <Zone=ZA:ZD> <Band=B1:B10> <Count>	特定の出力ゾーンで、グラフィックイコライザーの特定バンドの現在のゲインを増減します。適用する増分は Count パラメーター（dB×10）で定めます。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

図中の英語表記

図中の表示	意味
INPUT / OUTPUT	入力／出力
ANALOGUE / DIGITAL	アナログ／デジタル
MIC / LINE	マイク／ライン
MONITOR OUTPUT / HEADPHONES	モニター出力／ヘッドホン
BALANCED / UNBALANCED	バランス／アンバランス
REMOTE / CONTROL	リモート／制御
PRIMARY / SECONDARY	プライマリー／セカンダリー
SOURCE / ZONE	音源／ゾーン
AMPLIFIER / SPEAKERS	アンプ／スピーカー
Power Supply / PSU	電源
One PSU for both units	両ユニットで電源1台を共用
Front Panel / Rear Panel	フロントパネル／リアパネル
Host / Expansion	ホスト／拡張
Network / Ethernet	ネットワーク／Ethernet
Signal / Clip / Mute	信号／クリップ／ミュート

信号経路、端子番号、図中の型番、操作画面の項目名は原表記で保持しています。

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

国内保証・修理のご案内

日本国内の保証期間と適用条件は、製品に付属する保証書をご確認ください。記載が不明な場合は、お買い上げの販売店またはグラフィカ株式会社プロダクトサポートへご確認ください。

修理をご依頼の際は、機種名、製造番号、不具合の症状、購入日・購入先を確認できる書類をご準備ください。修理品の発送前に、販売店または国内サポートへ受付方法と送付先をご確認ください。

国内サポート：グラフィカ株式会社 プロダクトサポート

電話：050-3138-5157 FAX：050-3535-9168

www.graphica.ne.jp

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。

国内輸入総代理店

グラフィカ株式会社 プロダクトサポート

電話：050-3138-5157 FAX：050-3535-9168

www.graphica.ne.jp

製品の特性は、製造上の公差により変動する場合があります。NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.は、製品仕様に影響を及ぼす設計または製造上の変更・改良を行う権利を留保します。

国内での技術相談・修理のご依頼は、お買い上げの販売店またはグラフィカ株式会社プロダクトサポートへお問い合わせください。

Motors, 166-168 | 08038 Barcelona, Spain | www.ecler.com

【許可なく複製および本文または写真の引用を禁止】©Copyright NEEC AUDIO BARCELONA, S.L.
本書の翻訳権はグラフィカ株式会社がライセンス契約により保持しており、著作権法で保護されています。